

ページ	項目	改訂箇所	備考
42	第1章 工事編 ⑨横断歩道橋補修工	積算基準対応表	国土交通省土木工事標準積算基準書（令和4年度版）
45	第1章 工事編 ⑩旧橋撤去工	(1) 主要基材（工具）表	国土交通省土木工事標準積算基準書（令和4年度版）
358	第7章 ①補修用足場工	表1-1 足場工の種類	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
359	第7章 ①補修用足場工	図を差し替え	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
360	第7章 ①補修用足場工	図を差し替え	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
361	第7章 ①-1 足場工	表1-2 損料及び歩掛係数	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
361	第7章 ①-1 足場工	付表-2 足場用吊チェーンの盛替えによる補正（ $\alpha 1$ ）	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
361	第7章 ①-1 足場工	極小面積の場合の補正	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
362	第7章 ①-1 足場工	TYPE G 足場工費	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
363	第7章 ①-2 塗装用足場工	表1-3 塗装用吊足場損料及び歩掛係数	国土交通省土木工事標準積算基準書（令和4年度版） 橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
367	第7章 ②-4 高力ボルト取替工	表2-4 高力ボルト取替工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
368	第7章 ②-6 特殊HTB工（孔明け＋本締工連続作業）	表2-6 特殊HTB工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
368	第7章 ②-6 特殊HTB工（孔明け＋本締工連続作業）	施工方法による（ β ）の考え方	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
369	第7章 ②-7 特殊HTB工（孔明け＋打込み＋本締工連続作業）	表2-7 支圧HTB工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
370	第7章 ②-9 リベット撤去工	表2-9 リベット撤去工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
372	第7章 ③-1 現場溶接工	表3-1 現場溶接工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
374	第7章 ④-1 ガス切断切削仕上工	表4-1 ガス切断切削仕上工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
378	第7章 ⑥-1 検査路撤去工	表6-1 検査路撤去工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
378	第7章 ⑥-2 検査路再設置工	表6-2 検査路再設置工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
379	第7章 ⑦-1 補強部材取付工	表7-1 補強部材取付工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
380	第7章 ⑦-4 増設部材仮設工（増設横縦桁等取付撤去工）	表7-4 増設部材仮設工（増設横縦桁等取付撤去工）歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
381	第7章 ⑦-6 主桁連結部材取付工	表7-6 主桁連結部材取付工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
384	第7章 ⑦-8 落橋防止装置・横変位高速装置取付工	表7-8 落橋防止装置・横変位高速装置取付工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
386	第7章 ⑦-11 既設機構撤去・取付工	表7-11 既設機構撤去・取付工歩掛	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
393	第7章 ⑨-1 コンクリート削孔工（電動式コアボーリングマシン）	表9-1 コンクリート削孔工（電動式コアボーリングマシン）積算条件区分一覧	国土交通省土木工事標準積算基準書（令和4年度版）
409	第7章 ⑪-1 鋼橋－鋼製支承（ゴム支承）	表11-11 支承取替工歩掛（鋼橋－ゴム支承）	橋梁架設工事の積算（令和4年度版）
421	第7章 ⑬-1 既設舗装はぎ取り工	表13-1 既設舗装はぎ取り歩掛	国土交通省土木工事標準積算基準書（令和4年度版）
421	第7章 ⑬-2 ノンスリップ撤去工	表13-2 ノンスリップ撤去歩掛	国土交通省土木工事標準積算基準書（令和4年度版）
421	第7章 ⑬-3 ノンスリップ設置工（穴あけ共）	表13-3 ノンスリップ設置工（穴あけ共）撤去歩掛	国土交通省土木工事標準積算基準書（令和4年度版）

頁	項目	改定前	改定後																																																
42	第 1 章⑨ 横断歩道橋補修工	42 第 1 章 鋼 橋 ⑨ 横断歩道橋補修工 1 概 説 高度経済成長以降、横断歩道橋は交通事故の削減に向け大量に建設されてきたが、経年劣化等による損傷が顕著になってきている。歩道橋の損傷としては、アスファルトブロック等の橋面舗装の傷みや、ノンスリップタイルの目地への亀裂発生、タイルのはがれ等がある。 適切な補修を行うことで、横断歩道橋利用者の安全な通行を確保するとともに構造物の延命化が図られる。 (1) 主要機材 (工具) 表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>用 途</th></tr><tr><td>電 気 ド リ ル</td><td>鉄工用 10～20mm</td><td rowspan="2">ノンスリップ設置 (穴あけ共)</td></tr><tr><td>発 動 発 電 機</td><td>ガソリンエンジン駆動 2kVA</td></tr></table> 2 施工手順及び積算情報 は ぎ 取 り 積 込 運 搬 ノ ン ス リ ッ プ 撤 去 下 地 処 理 プ ラ イ マ ー 塗 布 ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (注) 上記フローは、本工法の施工手順の一例である。 積算基準対応表 <table><tr><th>工 種</th><th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th><th>橋梁架設工事の積算</th><th>本書 第 7 章</th></tr><tr><td>既 設 橋 面 舗 装 は ぎ 取 り</td><td>Ⅳ-3-⑧ 表2.1 既設橋面舗装はぎ取り歩掛</td><td>_____</td><td>⑩-1 既設橋面舗装はぎ取り工</td></tr><tr><td>ノ ン ス リ ッ プ 撤 去</td><td>Ⅳ-3-⑧ 表2.2 ノンスリップ撤去歩掛</td><td>_____</td><td>⑩-2 ノンスリップ撤去工</td></tr><tr><td>ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)</td><td>Ⅳ-3-⑧ 表2.3 ノンスリップ設置 (穴あけ共) 歩掛</td><td>_____</td><td>⑩-3 ノンスリップ設置工 (穴あけ共)</td></tr></table>	名 称	規 格	用 途	電 気 ド リ ル	鉄工用 10～20mm	ノンスリップ設置 (穴あけ共)	発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 2kVA	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第 7 章	既 設 橋 面 舗 装 は ぎ 取 り	Ⅳ-3-⑧ 表2.1 既設橋面舗装はぎ取り歩掛	_____	⑩-1 既設橋面舗装はぎ取り工	ノ ン ス リ ッ プ 撤 去	Ⅳ-3-⑧ 表2.2 ノンスリップ撤去歩掛	_____	⑩-2 ノンスリップ撤去工	ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)	Ⅳ-3-⑧ 表2.3 ノンスリップ設置 (穴あけ共) 歩掛	_____	⑩-3 ノンスリップ設置工 (穴あけ共)	42 第 1 章 鋼 橋 ⑨ 横断歩道橋補修工 1 概 説 高度経済成長以降、横断歩道橋は交通事故の削減に向け大量に建設されてきたが、経年劣化等による損傷が顕著になってきている。歩道橋の損傷としては、アスファルトブロック等の橋面舗装の傷みや、ノンスリップタイルの目地への亀裂発生、タイルのはがれ等がある。 適切な補修を行うことで、横断歩道橋利用者の安全な通行を確保するとともに構造物の延命化が図られる。 (1) 主要機材 (工具) 表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>用 途</th></tr><tr><td>電 気 ド リ ル</td><td>鉄工用 10～20mm</td><td rowspan="2">ノンスリップ設置 (穴あけ共)</td></tr><tr><td>発 動 発 電 機</td><td>ガソリンエンジン駆動 2kVA</td></tr></table> 2 施工手順及び積算情報 は ぎ 取 り 積 込 運 搬 ノ ン ス リ ッ プ 撤 去 下 地 処 理 プ ラ イ マ ー 塗 布 ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (注) 上記フローは、本工法の施工手順の一例である。 積算基準対応表 <table><tr><th>工 種</th><th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th><th>橋梁架設工事の積算</th><th>本書 第 7 章</th></tr><tr><td>既 設 舗 装 は ぎ 取 り</td><td>Ⅳ-3-⑧ 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛</td><td>_____</td><td>⑩-1 既設橋面舗装はぎ取り工</td></tr><tr><td>ノ ン ス リ ッ プ 撤 去</td><td>Ⅳ-3-⑧ 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛</td><td>_____</td><td>⑩-2 ノンスリップ撤去工</td></tr><tr><td>ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)</td><td>_____</td><td>_____</td><td>_____</td></tr></table>	名 称	規 格	用 途	電 気 ド リ ル	鉄工用 10～20mm	ノンスリップ設置 (穴あけ共)	発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 2kVA	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第 7 章	既 設 舗 装 は ぎ 取 り	Ⅳ-3-⑧ 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛	_____	⑩-1 既設橋面舗装はぎ取り工	ノ ン ス リ ッ プ 撤 去	Ⅳ-3-⑧ 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛	_____	⑩-2 ノンスリップ撤去工	ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)	_____	_____	_____
名 称	規 格	用 途																																																	
電 気 ド リ ル	鉄工用 10～20mm	ノンスリップ設置 (穴あけ共)																																																	
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 2kVA																																																		
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第 7 章																																																
既 設 橋 面 舗 装 は ぎ 取 り	Ⅳ-3-⑧ 表2.1 既設橋面舗装はぎ取り歩掛	_____	⑩-1 既設橋面舗装はぎ取り工																																																
ノ ン ス リ ッ プ 撤 去	Ⅳ-3-⑧ 表2.2 ノンスリップ撤去歩掛	_____	⑩-2 ノンスリップ撤去工																																																
ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)	Ⅳ-3-⑧ 表2.3 ノンスリップ設置 (穴あけ共) 歩掛	_____	⑩-3 ノンスリップ設置工 (穴あけ共)																																																
名 称	規 格	用 途																																																	
電 気 ド リ ル	鉄工用 10～20mm	ノンスリップ設置 (穴あけ共)																																																	
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 2kVA																																																		
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第 7 章																																																
既 設 舗 装 は ぎ 取 り	Ⅳ-3-⑧ 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛	_____	⑩-1 既設橋面舗装はぎ取り工																																																
ノ ン ス リ ッ プ 撤 去	Ⅳ-3-⑧ 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛	_____	⑩-2 ノンスリップ撤去工																																																
ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)	_____	_____	_____																																																

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																																
45	第 1 章⑩ 旧橋撤去工	旧橋撤去工 45 ⑩ 旧橋撤去工 1 概 説 旧橋撤去工は、交通量の増大や通行車両の大型化の影響により、床版や桁材に損傷を受け老朽化した橋梁の架替えに伴う、既設橋梁の上部工撤去作業である。 旧橋撤去作業のうち、コンクリート床版のとりこわし方法は、床版を破碎しながら、その破碎殻を桁下に落下させる工法（一般施工）と、破碎殻を桁下に落下させないように桁を利用して足場や防護板を設置し、床版を 2 m × 5 m 程度のブロック状に切断してクレーンで撤去する分割施工（ブロック施工）といわれる工法に分類される。ここでは、最も一般的な構造の鋼橋鉄桁のブロック施工による撤去作業について記述する。 （1）主要機材（工具）表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>摘 要</th><th>用 途</th></tr><tr><td>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</td><td>ベストラック 4 t 級 吊能力 2.9 t</td><td></td><td>高 欄 撤 去</td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)</td><td>標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）</td><td></td><td>アスファルト舗装版 破 砕 ・ 積 込 み</td></tr><tr><td>大 型 プ レ ー カ</td><td>（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊</td><td></td><td></td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)</td><td>標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）</td><td></td><td>床版 1 次破砕・撤去</td></tr><tr><td>大 型 プ レ ー カ</td><td>（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊</td><td></td><td></td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)</td><td>標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）</td><td></td><td>床版 1 次及び 2 次 破 砕 ・ 撤 去</td></tr><tr><td>大 型 プ レ ー カ</td><td>（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊</td><td>(注) 2、4</td><td></td></tr><tr><td>トラッククレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊</td><td></td><td>桁 1 次切断・撤去</td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊</td><td>相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4</td><td></td></tr><tr><td>トラッククレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊</td><td>(注) 2、4</td><td></td></tr><tr><td>トラッククレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊</td><td></td><td>桁 1 次 及 び 2 次 切 断 ・ 撤 去</td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊</td><td>相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4</td><td></td></tr><tr><td>トラッククレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ダン プ ト ラ ッ ク</td><td>オンロード・ディーゼル 10 t 積級</td><td></td><td>アスファルト塊運搬</td></tr><tr><td>ダン プ ト ラ ッ ク</td><td>オンロード・ディーゼル 10 t 積級</td><td>(注) 3</td><td>床 版 運 搬</td></tr></table> (注) 1. 上表に掲げる機械の機種・規格は、本施工に使用される施工機械のうちの代表的な機種・規格である。 2. 撤去部材の大きさと現場条件に応じてクレーンの機種・規格を決定する。 3. 床版 1 次破碎後のコンクリート塊の運搬である。 4. ラフテレンクレーンの 45 t 吊は、排出ガス対策型（第 1 次基準値）とする。	名 称	規 格	摘 要	用 途	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベストラック 4 t 級 吊能力 2.9 t		高 欄 撤 去	バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		アスファルト舗装版 破 砕 ・ 積 込 み	大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級			ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊			バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		床版 1 次破砕・撤去	大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級			ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊			バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		床版 1 次及び 2 次 破 砕 ・ 撤 去	大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級			ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	(注) 2、4		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊		桁 1 次切断・撤去	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊			ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	(注) 2、4		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊		桁 1 次 及 び 2 次 切 断 ・ 撤 去	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊			ダン プ ト ラ ッ ク	オンロード・ディーゼル 10 t 積級		アスファルト塊運搬	ダン プ ト ラ ッ ク	オンロード・ディーゼル 10 t 積級	(注) 3	床 版 運 搬	工事編 ⑩ 旧橋撤去工 45 ⑩ 旧橋撤去工 1 概 説 旧橋撤去工は、交通量の増大や通行車両の大型化の影響により、床版や桁材に損傷を受け老朽化した橋梁の架替えに伴う、既設橋梁の上部工撤去作業である。 旧橋撤去作業のうち、コンクリート床版のとりこわし方法は、床版を破碎しながら、その破碎殻を桁下に落下させる工法（一般施工）と、破碎殻を桁下に落下させないように桁を利用して足場や防護板を設置し、床版を 2 m × 5 m 程度のブロック状に切断してクレーンで撤去する分割施工（ブロック施工）といわれる工法に分類される。ここでは、最も一般的な構造の鋼橋鉄桁のブロック施工による撤去作業について記述する。 （1）主要機材（工具）表 <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>摘 要</th><th>用 途</th></tr><tr><td>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</td><td>ベストラック 4～4.5 t 級 吊能力 2.9 t</td><td></td><td>高 欄 撤 去</td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)</td><td>標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）</td><td></td><td>アスファルト舗装版 破 砕 ・ 積 込 み</td></tr><tr><td>大 型 プ レ ー カ</td><td>（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊</td><td></td><td></td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)</td><td>標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）</td><td></td><td>床版 1 次破砕・撤去</td></tr><tr><td>大 型 プ レ ー カ</td><td>（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊</td><td></td><td></td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)</td><td>標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）</td><td></td><td>床版 1 次及び 2 次 破 砕 ・ 撤 去</td></tr><tr><td>大 型 プ レ ー カ</td><td>（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊</td><td>(注) 2、4</td><td></td></tr><tr><td>トラッククレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊</td><td></td><td>桁 1 次切断・撤去</td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊</td><td>相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4</td><td></td></tr><tr><td>トラッククレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊</td><td>(注) 2、4</td><td></td></tr><tr><td>トラッククレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊</td><td></td><td>桁 1 次 及 び 2 次 切 断 ・ 撤 去</td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊</td><td>相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4</td><td></td></tr><tr><td>トラッククレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ダン プ ト ラ ッ ク</td><td>オンロード・ディーゼル 10 t 積級</td><td></td><td>アスファルト塊運搬</td></tr><tr><td>ダン プ ト ラ ッ ク</td><td>オンロード・ディーゼル 10 t 積級</td><td>(注) 3</td><td>床 版 運 搬</td></tr></table> (注) 1. 上表に掲げる機械の機種・規格は、本施工に使用される施工機械のうちの代表的な機種・規格である。 2. 撤去部材の大きさと現場条件に応じてクレーンの機種・規格を決定する。 3. 床版 1 次破碎後のコンクリート塊の運搬である。 4. ラフテレンクレーンの 45 t 吊は、排出ガス対策型（第 1 次基準値）とする。	名 称	規 格	摘 要	用 途	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベストラック 4～4.5 t 級 吊能力 2.9 t		高 欄 撤 去	バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		アスファルト舗装版 破 砕 ・ 積 込 み	大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級			ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊			バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		床版 1 次破砕・撤去	大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級			ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊			バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		床版 1 次及び 2 次 破 砕 ・ 撤 去	大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級			ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	(注) 2、4		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊		桁 1 次切断・撤去	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊			ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	(注) 2、4		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊		桁 1 次 及 び 2 次 切 断 ・ 撤 去	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊			ダン プ ト ラ ッ ク	オンロード・ディーゼル 10 t 積級		アスファルト塊運搬	ダン プ ト ラ ッ ク	オンロード・ディーゼル 10 t 積級	(注) 3	床 版 運 搬
名 称	規 格	摘 要	用 途																																																																																																																																																																
ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベストラック 4 t 級 吊能力 2.9 t		高 欄 撤 去																																																																																																																																																																
バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		アスファルト舗装版 破 砕 ・ 積 込 み																																																																																																																																																																
大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級																																																																																																																																																																		
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊																																																																																																																																																																		
バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		床版 1 次破砕・撤去																																																																																																																																																																
大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級																																																																																																																																																																		
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊																																																																																																																																																																		
バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		床版 1 次及び 2 次 破 砕 ・ 撤 去																																																																																																																																																																
大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級																																																																																																																																																																		
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	(注) 2、4																																																																																																																																																																	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊		桁 1 次切断・撤去																																																																																																																																																																
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4																																																																																																																																																																	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊																																																																																																																																																																		
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	(注) 2、4																																																																																																																																																																	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊		桁 1 次 及 び 2 次 切 断 ・ 撤 去																																																																																																																																																																
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4																																																																																																																																																																	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊																																																																																																																																																																		
ダン プ ト ラ ッ ク	オンロード・ディーゼル 10 t 積級		アスファルト塊運搬																																																																																																																																																																
ダン プ ト ラ ッ ク	オンロード・ディーゼル 10 t 積級	(注) 3	床 版 運 搬																																																																																																																																																																
名 称	規 格	摘 要	用 途																																																																																																																																																																
ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベストラック 4～4.5 t 級 吊能力 2.9 t		高 欄 撤 去																																																																																																																																																																
バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		アスファルト舗装版 破 砕 ・ 積 込 み																																																																																																																																																																
大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級																																																																																																																																																																		
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊																																																																																																																																																																		
バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		床版 1 次破砕・撤去																																																																																																																																																																
大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級																																																																																																																																																																		
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）25 t 吊																																																																																																																																																																		
バックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）		床版 1 次及び 2 次 破 砕 ・ 撤 去																																																																																																																																																																
大 型 プ レ ー カ	（ベースマシン含まず）油圧式 質量 600～800 kg 級																																																																																																																																																																		
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	(注) 2、4																																																																																																																																																																	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊		桁 1 次切断・撤去																																																																																																																																																																
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4																																																																																																																																																																	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊																																																																																																																																																																		
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	(注) 2、4																																																																																																																																																																	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊		桁 1 次 及 び 2 次 切 断 ・ 撤 去																																																																																																																																																																
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 次基準値） 25 t、35 t、45 t、50 t 吊	相吊クレーンが 必要な場合 (注) 4																																																																																																																																																																	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t、120 t、160 t、200 t、360 t 吊																																																																																																																																																																		
ダン プ ト ラ ッ ク	オンロード・ディーゼル 10 t 積級		アスファルト塊運搬																																																																																																																																																																
ダン プ ト ラ ッ ク	オンロード・ディーゼル 10 t 積級	(注) 3	床 版 運 搬																																																																																																																																																																

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																																																																																																																											
358	第7章① 補修用足場工	358 第7章 歩掛編 第7章 歩掛編 ① 補修用足場工 足場工の種類は補修工事の工種により下表のとおりである。 表1-1 足場工の種類 <table><tr><th>足場の種類</th><th>主体</th><th>板張</th><th>シート張</th><th>中段</th><th>朝顔</th><th>朝顔部分</th><th>主な工種</th></tr><tr><td>TYPE A1</td><td>吊足場 (桁高$h<1.5$)</td><td>○</td><td>○</td><td>※</td><td></td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工</td></tr><tr><td>TYPE A2</td><td>吊足場 (桁高$h\geq 1.5$) (中段足場含む)</td><td>○</td><td>○</td><td>※</td><td>○</td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工</td></tr><tr><td>TYPE A3</td><td>吊足場 (足場上で部材移動がある場合や、路下が道路・鉄道等で板張り防護が必要な場合) (中段足場含む)</td><td>○</td><td>○</td><td>※</td><td>○</td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工</td></tr><tr><td rowspan="3">TYPE B</td><td>朝顔</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工</td></tr><tr><td>板張防護</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>シート張防護</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>TYPE C</td><td>中段足場</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工</td></tr><tr><td>TYPE D</td><td>中段足場 (ガラ受)</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工</td></tr><tr><td>TYPE E</td><td>片側朝顔防護足場</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>地震補修工・高欄補修工</td></tr><tr><td>TYPE F</td><td>橋脚周り足場</td><td>○</td><td>○</td><td>※</td><td></td><td></td><td>支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工</td></tr><tr><td>TYPE G</td><td>枠組足場</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工</td></tr><tr><td>TYPE H</td><td>塗装用吊足場 (桁高$h<1.5$)</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>塗替塗装工</td></tr><tr><td>TYPE I</td><td>塗装用吊足場 (桁高$h\geq 1.5$) (中段足場含む)</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>塗替塗装工</td></tr><tr><td>パネル式吊足場</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工</td></tr></table> (注) ※印は原則設置するものとするが、床面のシート張防護は基本歩掛に含まれていないため、設置する場合は表1-2損料及び歩掛係数より別途計上すること。 TYPE A1, A2 吊足場 (A2は中段足場を追加)	足場の種類	主体	板張	シート張	中段	朝顔	朝顔部分	主な工種	TYPE A1	吊足場 (桁高 $h<1.5$)	○	○	※			床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工	TYPE A2	吊足場 (桁高 $h\geq 1.5$) (中段足場含む)	○	○	※	○		床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工	TYPE A3	吊足場 (足場上で部材移動がある場合や、路下が道路・鉄道等で板張り防護が必要な場合) (中段足場含む)	○	○	※	○		床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工	TYPE B	朝顔				○		床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工	板張防護					○		シート張防護					○		TYPE C	中段足場			○			床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工	TYPE D	中段足場 (ガラ受)		○	○	○		床版補強工・主構造補強工・環境対策工	TYPE E	片側朝顔防護足場				○		地震補修工・高欄補修工	TYPE F	橋脚周り足場	○	○	※			支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工	TYPE G	枠組足場						支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工	TYPE H	塗装用吊足場 (桁高 $h<1.5$)	○		○			塗替塗装工	TYPE I	塗装用吊足場 (桁高 $h\geq 1.5$) (中段足場含む)	○		○	○		塗替塗装工	パネル式吊足場		○	○				床版補強工・主構造補強工・環境対策工	358 第7章 歩掛編 第7章 歩掛編 ① 補修用足場工 足場工の種類は補修工事の工種により下表のとおりである。 但し、トラス橋、アーチ橋等については構造や現場環境条件等より検討すべき点が多いため摘要範囲外とする。 表1-1 足場工の種類 <table><tr><th>足場の種類</th><th>主体</th><th>板張</th><th>シート張</th><th>中段</th><th>二段 ※2</th><th>朝顔</th><th>朝顔部分</th><th>主な工種</th></tr><tr><td>TYPE A1</td><td>吊足場 (桁高$h<1.5$)</td><td>○</td><td>○</td><td>※1</td><td></td><td></td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工</td></tr><tr><td>TYPE A2</td><td>吊足場 (桁高$h\geq 1.5$) (中段足場含む)</td><td>○</td><td>○</td><td>※1</td><td>○</td><td></td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工</td></tr><tr><td>TYPE A3</td><td>吊足場 (足場上で部材移動がある場合や、路下が道路・鉄道等で板張り防護が必要な場合) (中段足場含む)</td><td>○</td><td>○</td><td>※1</td><td>○</td><td></td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工</td></tr><tr><td rowspan="3">TYPE B</td><td>朝顔</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工</td></tr><tr><td>板張防護</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>シート張防護</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>TYPE C</td><td>中段足場</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工</td></tr><tr><td>TYPE D</td><td>中段足場 (ガラ受)</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工</td></tr><tr><td>TYPE E</td><td>片側朝顔防護足場</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>地震補修工・高欄補修工</td></tr><tr><td>TYPE F</td><td>橋脚周り足場</td><td>○</td><td>○</td><td>※1</td><td></td><td>○</td><td></td><td>支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工</td></tr><tr><td>TYPE G</td><td>枠組足場</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工</td></tr><tr><td>TYPE H</td><td>塗装用吊足場 (桁高$h<1.5$)</td><td>○</td><td></td><td>※1</td><td></td><td></td><td></td><td>塗替塗装工</td></tr><tr><td>TYPE I</td><td>塗装用吊足場 (桁高$h\geq 1.5$) (中段足場含む)</td><td>○</td><td></td><td>※1</td><td>○</td><td></td><td></td><td>塗替塗装工</td></tr><tr><td>パネル式吊足場</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>床版補強工・主構造補強工・環境対策工</td></tr></table> (注) 1. ※1 は原則設置するものとするが、床面のシート張防護は基本歩掛に含まれていないため、設置する場合は表1-2損料及び歩掛係数より別途計上する。 2. ※2 は二段足場が必要な場合は表1-2損料及び歩掛係数より実面積を別途計上する。 3. 足場設置・撤去の際、高所作業車や橋梁点検車等機材が必要な場合は、費用を別途計上する。 TYPE A1, A2 吊足場 (A2は中段足場を追加)	足場の種類	主体	板張	シート張	中段	二段 ※2	朝顔	朝顔部分	主な工種	TYPE A1	吊足場 (桁高 $h<1.5$)	○	○	※1				床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工	TYPE A2	吊足場 (桁高 $h\geq 1.5$) (中段足場含む)	○	○	※1	○			床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工	TYPE A3	吊足場 (足場上で部材移動がある場合や、路下が道路・鉄道等で板張り防護が必要な場合) (中段足場含む)	○	○	※1	○			床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工	TYPE B	朝顔					○		床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工	板張防護						○		シート張防護						○		TYPE C	中段足場			○				床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工	TYPE D	中段足場 (ガラ受)		○	○	○			床版補強工・主構造補強工・環境対策工	TYPE E	片側朝顔防護足場					○		地震補修工・高欄補修工	TYPE F	橋脚周り足場	○	○	※1		○		支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工	TYPE G	枠組足場							支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工	TYPE H	塗装用吊足場 (桁高 $h<1.5$)	○		※1				塗替塗装工	TYPE I	塗装用吊足場 (桁高 $h\geq 1.5$) (中段足場含む)	○		※1	○			塗替塗装工	パネル式吊足場		○	○					床版補強工・主構造補強工・環境対策工
足場の種類	主体	板張	シート張	中段	朝顔	朝顔部分	主な工種																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE A1	吊足場 (桁高 $h<1.5$)	○	○	※			床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE A2	吊足場 (桁高 $h\geq 1.5$) (中段足場含む)	○	○	※	○		床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE A3	吊足場 (足場上で部材移動がある場合や、路下が道路・鉄道等で板張り防護が必要な場合) (中段足場含む)	○	○	※	○		床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE B	朝顔				○		床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																							
	板張防護					○																																																																																																																																																																																																																																																								
	シート張防護					○																																																																																																																																																																																																																																																								
TYPE C	中段足場			○			床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE D	中段足場 (ガラ受)		○	○	○		床版補強工・主構造補強工・環境対策工																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE E	片側朝顔防護足場				○		地震補修工・高欄補修工																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE F	橋脚周り足場	○	○	※			支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE G	枠組足場						支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE H	塗装用吊足場 (桁高 $h<1.5$)	○		○			塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE I	塗装用吊足場 (桁高 $h\geq 1.5$) (中段足場含む)	○		○	○		塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																							
パネル式吊足場		○	○				床版補強工・主構造補強工・環境対策工																																																																																																																																																																																																																																																							
足場の種類	主体	板張	シート張	中段	二段 ※2	朝顔	朝顔部分	主な工種																																																																																																																																																																																																																																																						
TYPE A1	吊足場 (桁高 $h<1.5$)	○	○	※1				床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																						
TYPE A2	吊足場 (桁高 $h\geq 1.5$) (中段足場含む)	○	○	※1	○			床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																						
TYPE A3	吊足場 (足場上で部材移動がある場合や、路下が道路・鉄道等で板張り防護が必要な場合) (中段足場含む)	○	○	※1	○			床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																						
TYPE B	朝顔					○		床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																						
	板張防護						○																																																																																																																																																																																																																																																							
	シート張防護						○																																																																																																																																																																																																																																																							
TYPE C	中段足場			○				床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																						
TYPE D	中段足場 (ガラ受)		○	○	○			床版補強工・主構造補強工・環境対策工																																																																																																																																																																																																																																																						
TYPE E	片側朝顔防護足場					○		地震補修工・高欄補修工																																																																																																																																																																																																																																																						
TYPE F	橋脚周り足場	○	○	※1		○		支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工																																																																																																																																																																																																																																																						
TYPE G	枠組足場							支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工																																																																																																																																																																																																																																																						
TYPE H	塗装用吊足場 (桁高 $h<1.5$)	○		※1				塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																						
TYPE I	塗装用吊足場 (桁高 $h\geq 1.5$) (中段足場含む)	○		※1	○			塗替塗装工																																																																																																																																																																																																																																																						
パネル式吊足場		○	○					床版補強工・主構造補強工・環境対策工																																																																																																																																																																																																																																																						

頁	項目	改定前	改定後
359	第 7 章① 補修用足場工	補修用足場工 359 TYPE A3 吊足場 TYPE B 朝顔 TYPE C 中段足場 TYPE D 中段足場 (ガラス受) TYPE E 片側朝顔防護足場	① 補修用足場工 359 TYPE A3 吊足場 TYPE B 朝顔 TYPE C 中段足場 TYPE D 中段足場 (ガラス受) TYPE E 片側朝顔防護足場

頁	項目	改定前	改定後
360	第7章① 補修用足場工	360 第7章 歩掛幅 TYPE F 橋脚周り足場 TYPE G 枠組足場 TYPE H・I 塗装用足場 (Iは中段足場を追加)	360 第7章 歩掛幅 TYPE F 橋脚周り足場 TYPE G 枠組足場 TYPE H・I 塗装用足場 (Iは中段足場を追加)

頁

項目

361

第7章①

補修用足場工

改定前

補修用足場工 361

①-1 足場工

足場の設置・撤去工事の歩掛は、次表を標準とする。

表 1-2 損料及び歩掛係数

足場の種類		M	S	N	
TYPE A1	吊足場 (桁高 h<1.5m)		425	0.130	朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上
TYPE A2	吊足場 (桁高 h≥1.5) (中段足場含む)		470	0.153	朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上
TYPE A3	吊足場 (足場上で部材移動がある場合や、路下が道路・鉄道等で板張り防護が必要な場合) (中段足場含む)		530	0.153	朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上
床面シート張防護設置時			79	0.007	TYPE A1, A2, A3に対応
TYPE B	朝顔		50	0.022	防護工は別途計上。片側の場合は1/2とする
	板張防護工		110	0.018	上記足場に加算 (TYPE B に対応)
	シート張防護工		42	0.004	上記足場に加算 (TYPE B に対応)
TYPE C	中段足場		45	0.023	
TYPE D	中段足場 (ガラ受)		350	0.072	防護工含む
TYPE E	片側朝顔防護足場		403	0.156	シートのみ防護
			448	0.156	シート + 板張防護
TYPE F	橋脚周り足場	708	18	0.260	
TYPE G	枠組足場		310	0.052	

土木工事標準積算基準書 IV-3-⑩ 式8.1~8.5 参照
橋梁架設工事の積算 表4-2-4・7・10・12 損料及び歩掛係数①②③⑤参照
(注) 1. 橋梁地覆補修工に伴う足場については、**施工パッケージ型積算方式**移行につき「土木工事標準積算基準書IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工 3-4足場・防護」を参照のこと。
2. 支保取替工に伴う足場については、**施工パッケージ型積算方式**移行につき「土木工事標準積算基準書IV-3-⑩ ⑩-2 橋梁補修工 (支保取替工) 3-9足場」を参照のこと。

付表-1 現場環境条件による補正 (k₁)

環 境	係 数
一般用地内・河川高水敷部等	1.0
足場を設置する橋梁路面からの足場材を搬入・搬出を必要とする場合	1.1
主要道路上・鉄道上	1.2

(注) 時間制約がある場合は別途積算する。

極小面積の場合の補正

1箇所当りの平均足場設置面積が50m²未満の場合は設置撤去歩掛の補正を行う。

設置撤去の補正係数 k₂=1.3とする。

TYPE A1, A2, A3, B, C, D

足場工費={S×X+(N×k₁×k₂)×y}×A (円)

S:損料係数 (表1-2)

X:足場を供用している月数 (月) (供用月数は小数第1位とし、第2位を四捨五入する)

N:歩掛係数 (表1-2) k₁:現場環境条件による補正 (付表-1)

y:橋りょう特殊工単価 (円/人) k₂:極小面積の場合の補正 (K₂=1.3)

A:橋面積 (防護工面積) または足場面積 (m²)

橋 面 積 A=W×L TYPE A1, A2, A3, B (板張防護工、シート張防護工)
(防護工面積) W:全幅員 (地覆外縁間距離) (m) L:橋長または必要長 (m)

足場面積 A=幅×長さ (実面積) TYPE C, D

改定後

① 補修用足場工 361

①-1 足場工

足場の設置・撤去工事の歩掛は、次表を標準とする。

表 1-2 損料及び歩掛係数

足場の種類		M	S	N	
TYPE A1	吊足場 (桁高 h<1.5m)		425	0.130	朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上
TYPE A2	吊足場 (桁高 h≥1.5) (中段足場含む)		470	0.153	朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上
TYPE A3	吊足場 (足場上で部材移動がある場合や、路下が道路・鉄道等で板張防護が必要な場合) (中段足場含む)		530	0.153	朝顔・朝顔防護工、床面のシート張防護工は別途計上
床面シート張防護設置時			79	0.007	TYPE A1, A2, A3に対応
TYPE B	朝顔		50	0.022	防護工は別途計上。片側の場合は1/2とする
	板張防護工		110	0.018	上記足場に加算 (TYPE B に対応)
	シート張防護工		42	0.004	上記足場に加算 (TYPE B に対応)
TYPE C	中段足場		45	0.023	
TYPE D	中段足場 (ガラ受)		350	0.072	防護工含む
TYPE E	片側朝顔防護足場		403	0.156	シートのみ防護
			448	0.156	シート + 板張防護
TYPE F	橋脚周り足場	708	18	0.260	
TYPE G	枠組足場			0.052	先行手摺工法

土木工事標準積算基準書 IV-3-⑩ 式8.1~8.5 参照
橋梁架設工事の積算 表4-2-4・7・10・12 損料及び歩掛係数①②③⑤参照
(注) 1. 橋梁地覆補修工に伴う足場については、**施工パッケージ型積算方式**移行につき「土木工事標準積算基準書IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工 3-4足場・防護」を参照のこと。
2. 支保取替工に伴う足場については、**施工パッケージ型積算方式**移行につき「土木工事標準積算基準書IV-3-⑩ ⑩-2 橋梁補修工 (支保取替工) 3-9足場」を参照のこと。

付表-1 現場環境条件による補正 (k₁)

環 境	係 数
一般用地内・河川高水敷部等	1.0
足場を設置する橋梁路面からの足場材を搬入・搬出を必要とする場合	1.1
主要道路上・鉄道上	1.2

(注) 時間制約がある場合は別途積算する。

極小面積の場合の補正

1箇所当り (面積 A または面積 A₀×橋軸方向枠組足場列数) の平均足場設置面積が50m² (または掛m²) 未満の場合は設置撤去歩掛の補正を行う。

設置撤去の補正係数 k₂=1.3とする。

TYPE A1, A2, A3, B, C, D

足場工費={S×X+(N×k₁×k₂)×y}×A (円)

S:損料係数 (表1-2)

X:足場を供用している月数 (月) (供用月数は小数第1位とし、第2位を四捨五入する)

N:歩掛係数 (表1-2) k₁:現場環境条件による補正 (付表-1)

y:橋りょう特殊工単価 (円/人) k₂:極小面積の場合の補正 (K₂=1.3)

A:橋面積 (防護工面積) または足場面積 (m²)

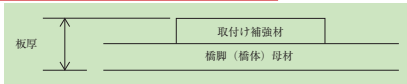
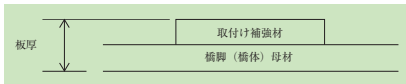
橋 面 積 A=W×L TYPE A1, A2, A3, B (板張防護工、シート張防護工)
(防護工面積) W:全幅員 (地覆外縁間距離) (m) L:橋長または必要長 (m)

足場面積 A=幅×長さ (実面積) TYPE C, D

頁	項目	改定前	改定後																												
362	第7章① 補修用足場工	362 第7章 歩掛編 TYPE E 足場工費=$\{ \frac{S \times X}{m} + (N \times k_1 \times \alpha_1) \times y \} \times A$ (円) S : 損料係数 (表1-2) X : 足場を供用している月数 (月) (供用月数は小数第1位とし、第2位を四捨五入する) m : 1工事での足場使用回数 (回) (付表-3) N : 歩掛係数 (表1-2) y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) k₁ : 現場環境条件による補正 (付表-1) α₁ : その他補正 (付表-2) A : 足場面積 (m²) 足場面積 A=B×L B : 足場必要幅 (m) L : 地覆補修延長 (m) TYPE F 足場工費= {M+S×X+(N×k₁)×y}×A (円) M : 損料係数 (表1-2) S : 損料係数 (表1-2) X : 足場を供用している日数 (日) N : 歩掛係数 (表1-2) y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) k₁ : 現場環境条件による補正 (付表-1) A : 足場面積 (m²) 足場面積 A=(L+2)×B×2×n B : 足場必要幅 (m) 標準幅 (支承取替工) : 1.5 L : 橋台及び橋脚の長さ (m) n : 橋台及び橋脚の数 (ただし、橋台の場合は1/2とする) TYPE G 足場工費=(S×X+(N×k₁×k₂)×y)×A₀ (円) S : 損料係数 (表1-2) X : 足場を供用している月数 (月) (供用月数は小数第1位とし、第2位を四捨五入する) N : 設置撤去歩掛係数 (表1-2) y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) k₁ : 現場環境条件による補正 (付表-1) k₂ : 極小面積の場合の補正 (K₂=1.3) A₀: 面積 (掛m²) 面積 A₀=H×B H : 高さ (m) B : 幅 (m) 付表-3 使用回数 (m) <table><tr><th>施工条件</th><th>使用回数</th></tr><tr><td>片側施工</td><td>1</td></tr><tr><td>両面施工</td><td>2</td></tr></table>	施工条件	使用回数	片側施工	1	両面施工	2	362 第7章 歩掛編 TYPE E 足場工費=$\{ \frac{S \times X}{m} + (N \times k_1 \times \alpha_1) \times y \} \times A$ (円) S : 損料係数 (表1-2) X : 足場を供用している月数 (月) (供用月数は小数第1位とし、第2位を四捨五入する) m : 1工事での足場使用回数 (回) (付表-3) N : 歩掛係数 (表1-2) y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) k₁ : 現場環境条件による補正 (付表-1) α₁ : その他補正 (付表-2) A : 足場面積 (m²) 足場面積 A=B×L B : 足場必要幅 (m) L : 地覆補修延長 (m) 付表-3 使用回数 (m) <table><tr><th>施工条件</th><th>使用回数</th></tr><tr><td>片側施工</td><td>1</td></tr><tr><td>両面施工</td><td>2</td></tr></table> 付表-4 橋軸方向枠組足場列数による 労務補正 (k₃) <table><tr><th>橋軸方向枠組足場列数</th><th>係 数</th></tr><tr><td>1列</td><td>1.0</td></tr><tr><td>2列</td><td>2.0</td></tr><tr><td>3列</td><td>3.0</td></tr></table> 付表-5 橋軸方向枠組足場列数による 賃料補正 (k₄) <table><tr><th>橋軸方向枠組足場列数</th><th>係 数</th></tr><tr><td>1列</td><td>1.0</td></tr><tr><td>2列</td><td>1.5</td></tr><tr><td>3列</td><td>2.0</td></tr></table> TYPE G 足場工費= {608×k₄+442×k₂×X+(N×k₁×k₂×k₃)×y}×A₀ (円) 安全ネット・先行手摺りを含む X : 足場を供用している月数 (月) (供用月数は小数第1位とし、第2位を四捨五入する) N : 設置撤去歩掛係数 (組立・解体=6 : 4とする) (表1-2) y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) k₁ : 現場環境条件による補正 (付表-1) k₂ : 極小面積の場合の補正 (K₂=1.3) k₃ : 橋軸方向枠組足場列数による労務補正 (付表-4) k₄ : 橋軸方向枠組足場列数による賃料補正 (付表-5) A₀: 面積 (掛m²) 面積 A₀=H×B H : 高さ (m) B : 幅 (m) 図は3列を示す	施工条件	使用回数	片側施工	1	両面施工	2	橋軸方向枠組足場列数	係 数	1列	1.0	2列	2.0	3列	3.0	橋軸方向枠組足場列数	係 数	1列	1.0	2列	1.5	3列	2.0
施工条件	使用回数																														
片側施工	1																														
両面施工	2																														
施工条件	使用回数																														
片側施工	1																														
両面施工	2																														
橋軸方向枠組足場列数	係 数																														
1列	1.0																														
2列	2.0																														
3列	3.0																														
橋軸方向枠組足場列数	係 数																														
1列	1.0																														
2列	1.5																														
3列	2.0																														

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																		
363	第 7 章① 補修用足場工	補修用足場工 363 ①-2 塗装用吊足場工 塗装用足場の設置・撤去工事の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表 1-3 塗装用吊足場損料及び歩掛係数</caption><tr><th colspan="2">足場の種類</th><th>S</th><th>N</th><th></th></tr><tr><td>TYPE H</td><td>塗装用吊足場（桁高 $h < 1.5\text{m}$）</td><td>248</td><td>0.097</td><td>朝顔・朝顔防護工は別途計上</td></tr><tr><td>TYPE I</td><td>塗装用吊足場（桁高 $h \geq 1.5\text{m}$）（中段足場含む）</td><td>293</td><td>0.120</td><td>朝顔・朝顔防護工は別途計上</td></tr><tr><td>TYPE B</td><td>朝顔</td><td>50</td><td>0.022</td><td>片側の場合は 1/2 とする</td></tr><tr><td rowspan="6">塗装足場工</td><td>板張防護工（主体足場追加）</td><td>177</td><td>0.033</td><td>上記足場に加算</td></tr><tr><td>板張防護工（両側朝顔）</td><td>222</td><td>0.039</td><td>上記足場に加算</td></tr><tr><td>板張防護工（片側朝顔）</td><td>199</td><td>0.036</td><td>上記足場に加算</td></tr><tr><td>シート張防護（床面）</td><td>79</td><td>0.007</td><td>上記足場に加算</td></tr><tr><td>シート張防護（両側朝顔）</td><td>76</td><td>0.003</td><td>上記足場に加算</td></tr><tr><td>シート張防護（片側朝顔）</td><td>38</td><td>0.0015</td><td>上記足場に加算</td></tr></table> 土木工事標準積算基準書 IV-3-⑧ 式 B.3 参照 橋梁架設工事の積算 表 4-2-14 損料及び歩掛係数⑧ 参照 (注) 朝顔、板張防護、シート張防護が必要な場合は別途計上する。 極小面積の場合の補正 1箇所当りの平均足場設置面積が50m^2未満の場合は設置撤去歩掛の補正を行う。 設置撤去の補正係数 $k_p=1.3$ とする。 TYPE H, I 足場工費 = $\{S \times X + (N \times k_1 \times k_p) \times y\} \times A$ (円) S : 損料係数 (表 1-3) X : 足場を供用している月数 (月) (供用月数は小数第 1 位とし、第 2 位を四捨五入する) N : 歩掛係数 (表 1-3) y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) k_1 : 現場環境条件による補正 (①-1 付表-1) k_p : 極小面積の場合の補正 ($K_p=1.3$) A : 橋梁面積または足場面積 (m^2) 橋面積 $A=W \times L$ (W : 全幅員 (地覆外縁間距離) (m) L : 橋長または必要長 (m)) ①-3 パネル式吊足場工 パネル式吊足場の設置・撤去工事の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表 1-4 パネル式吊足場賃料係数及び歩掛係数</caption><tr><th>足場の種類</th><th>L₁</th><th>L₂</th><th>N₁</th><th>N₂</th><th></th></tr><tr><td>パネル式吊足場</td><td>548</td><td>579</td><td>0.059</td><td>0.039</td><td>朝顔防護工は別途計上</td></tr></table> (注) 朝顔、シート張防護が必要な場合は別途計上する。 パネル式吊足場工費 = $(L_1 + L_2 \times T + (N_1 + N_2) \times y) \times A$ (円) L₁L₂ : 賃料係数 (表1-4) T : パネル式吊足場を供用している月数 (月) N₁ : 設置歩掛係数 (表1-4) N₂ : 撤去歩掛係数 (表1-4) y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) A : 橋面積 (m^2) $A=W \times L$ (W : 地覆外縁間距離 (m) L : 橋長または必要長 (m))	足場の種類		S	N		TYPE H	塗装用吊足場（桁高 $h < 1.5\text{m}$ ）	248	0.097	朝顔・朝顔防護工は別途計上	TYPE I	塗装用吊足場（桁高 $h \geq 1.5\text{m}$ ）（中段足場含む）	293	0.120	朝顔・朝顔防護工は別途計上	TYPE B	朝顔	50	0.022	片側の場合は 1/2 とする	塗装足場工	板張防護工（主体足場追加）	177	0.033	上記足場に加算	板張防護工（両側朝顔）	222	0.039	上記足場に加算	板張防護工（片側朝顔）	199	0.036	上記足場に加算	シート張防護（床面）	79	0.007	上記足場に加算	シート張防護（両側朝顔）	76	0.003	上記足場に加算	シート張防護（片側朝顔）	38	0.0015	上記足場に加算	足場の種類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂		パネル式吊足場	548	579	0.059	0.039	朝顔防護工は別途計上	① 補修用足場工 363 ①-2 塗装用吊足場工 塗装用足場の設置・撤去工事の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表 1-3 塗装用吊足場損料及び歩掛係数</caption><tr><th colspan="2">足場の種類</th><th>S</th><th>N</th><th></th></tr><tr><td>TYPE H</td><td>塗装用吊足場（桁高 $h < 1.5\text{m}$）</td><td>248</td><td>0.097</td><td>朝顔・朝顔防護工は別途計上</td></tr><tr><td>TYPE I</td><td>塗装用吊足場（桁高 $h \geq 1.5\text{m}$）（中段足場含む）</td><td>293</td><td>0.120</td><td>朝顔・朝顔防護工は別途計上</td></tr><tr><td>TYPE B</td><td>朝顔</td><td>50</td><td>0.022</td><td>片側の場合は 1/2 とする</td></tr><tr><td rowspan="6">塗装足場工</td><td>板張防護工（床面）</td><td>177</td><td>0.033</td><td>上記足場に加算（塗装用吊足場に板張を行う場合）</td></tr><tr><td>板張防護工（両側朝顔）</td><td>222</td><td>0.039</td><td>上記足場に加算（塗装用吊足場と朝顔に板張を行う場合）</td></tr><tr><td>板張防護工（片側朝顔）</td><td>199</td><td>0.036</td><td>上記足場に加算（塗装用吊足場と片側朝顔に板張を行う場合）</td></tr><tr><td>シート張防護（床面）</td><td>79</td><td>0.007</td><td>上記足場に加算</td></tr><tr><td>シート張防護（両側朝顔）</td><td>76</td><td>0.003</td><td>上記足場に加算</td></tr><tr><td>シート張防護（片側朝顔）</td><td>38</td><td>0.0015</td><td>上記足場に加算</td></tr></table> 土木工事標準積算基準書 IV-3-⑧ 式 B.3 参照 橋梁架設工事の積算 表 4-2-14 損料及び歩掛係数⑧ 参照 (注) 朝顔、板張防護、シート張防護が必要な場合は別途計上する。 極小面積の場合の補正 1箇所当りの平均足場設置面積が50m^2未満の場合は設置撤去歩掛の補正を行う。 設置撤去の補正係数 $k_p=1.3$ とする。 TYPE H, I 足場工費 = $\{S \times X + (N \times k_1 \times k_p) \times y\} \times A$ (円) S : 損料係数 (表 1-3) X : 足場を供用している月数 (月) (供用月数は小数第 1 位とし、第 2 位を四捨五入する) N : 歩掛係数 (表 1-3) y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) k_1 : 現場環境条件による補正 (①-1 付表-1) k_p : 極小面積の場合の補正 ($K_p=1.3$) A : 橋梁面積または足場面積 (m^2) 橋面積 $A=W \times L$ (W : 全幅員 (地覆外縁間距離) (m) L : 橋長または必要長 (m)) ①-3 パネル式吊足場工 パネル式吊足場の設置・撤去工事の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表 1-4 パネル式吊足場賃料係数及び歩掛係数</caption><tr><th>足場の種類</th><th>L₁</th><th>L₂</th><th>N₁</th><th>N₂</th><th></th></tr><tr><td>パネル式吊足場</td><td>548</td><td>579</td><td>0.059</td><td>0.039</td><td>朝顔防護工は別途計上</td></tr></table> (注) 朝顔、シート張防護が必要な場合は別途計上する。 パネル式吊足場工費 = $(L_1 + L_2 \times T + (N_1 + N_2) \times y) \times A$ (円) L₁L₂ : 賃料係数 (表1-4) T : パネル式吊足場を供用している月数 (月) N₁ : 設置歩掛係数 (表1-4) N₂ : 撤去歩掛係数 (表1-4) y : 橋りょう特殊工単価 (円/人) A : 橋面積 (m^2) $A=W \times L$ (W : 地覆外縁間距離 (m) L : 橋長または必要長 (m))	足場の種類		S	N		TYPE H	塗装用吊足場（桁高 $h < 1.5\text{m}$ ）	248	0.097	朝顔・朝顔防護工は別途計上	TYPE I	塗装用吊足場（桁高 $h \geq 1.5\text{m}$ ）（中段足場含む）	293	0.120	朝顔・朝顔防護工は別途計上	TYPE B	朝顔	50	0.022	片側の場合は 1/2 とする	塗装足場工	板張防護工（床面）	177	0.033	上記足場に加算（塗装用吊足場に板張を行う場合）	板張防護工（両側朝顔）	222	0.039	上記足場に加算（塗装用吊足場と朝顔に板張を行う場合）	板張防護工（片側朝顔）	199	0.036	上記足場に加算（塗装用吊足場と片側朝顔に板張を行う場合）	シート張防護（床面）	79	0.007	上記足場に加算	シート張防護（両側朝顔）	76	0.003	上記足場に加算	シート張防護（片側朝顔）	38	0.0015	上記足場に加算	足場の種類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂		パネル式吊足場	548	579	0.059	0.039	朝顔防護工は別途計上
足場の種類		S	N																																																																																																																		
TYPE H	塗装用吊足場（桁高 $h < 1.5\text{m}$ ）	248	0.097	朝顔・朝顔防護工は別途計上																																																																																																																	
TYPE I	塗装用吊足場（桁高 $h \geq 1.5\text{m}$ ）（中段足場含む）	293	0.120	朝顔・朝顔防護工は別途計上																																																																																																																	
TYPE B	朝顔	50	0.022	片側の場合は 1/2 とする																																																																																																																	
塗装足場工	板張防護工（主体足場追加）	177	0.033	上記足場に加算																																																																																																																	
	板張防護工（両側朝顔）	222	0.039	上記足場に加算																																																																																																																	
	板張防護工（片側朝顔）	199	0.036	上記足場に加算																																																																																																																	
	シート張防護（床面）	79	0.007	上記足場に加算																																																																																																																	
	シート張防護（両側朝顔）	76	0.003	上記足場に加算																																																																																																																	
	シート張防護（片側朝顔）	38	0.0015	上記足場に加算																																																																																																																	
足場の種類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																																																	
パネル式吊足場	548	579	0.059	0.039	朝顔防護工は別途計上																																																																																																																
足場の種類		S	N																																																																																																																		
TYPE H	塗装用吊足場（桁高 $h < 1.5\text{m}$ ）	248	0.097	朝顔・朝顔防護工は別途計上																																																																																																																	
TYPE I	塗装用吊足場（桁高 $h \geq 1.5\text{m}$ ）（中段足場含む）	293	0.120	朝顔・朝顔防護工は別途計上																																																																																																																	
TYPE B	朝顔	50	0.022	片側の場合は 1/2 とする																																																																																																																	
塗装足場工	板張防護工（床面）	177	0.033	上記足場に加算（塗装用吊足場に板張を行う場合）																																																																																																																	
	板張防護工（両側朝顔）	222	0.039	上記足場に加算（塗装用吊足場と朝顔に板張を行う場合）																																																																																																																	
	板張防護工（片側朝顔）	199	0.036	上記足場に加算（塗装用吊足場と片側朝顔に板張を行う場合）																																																																																																																	
	シート張防護（床面）	79	0.007	上記足場に加算																																																																																																																	
	シート張防護（両側朝顔）	76	0.003	上記足場に加算																																																																																																																	
	シート張防護（片側朝顔）	38	0.0015	上記足場に加算																																																																																																																	
足場の種類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																																																	
パネル式吊足場	548	579	0.059	0.039	朝顔防護工は別途計上																																																																																																																

頁	項目	改定前	改定後																																																																
367	第7章② 高力ボルト工 (リベット含む)	高力ボルト工 (リベット含む) 367 ②-4 高力ボルト取替工 高力ボルト取替工は、総本数180本以上（上部工は1橋単位、下部工は1橋脚単位を標準）とする。なお、180本未満の場合は別途積算する。主桁上フランジ部の床版コンクリートの中に埋っている高力ボルトなどの特殊箇所は、別途積算とする。 表2-4 高力ボルト取替工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">$n \geq 180$ のとき $Q = 180$ (本/日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>4 (6)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>17</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-4-1 高力ボルト取替工歩掛 参照 (注) 1. n : 取替高力ボルト総本数 (本) 2. 諸雑費は、発動発電機賃料、本線工具賃料、塗装除去工具賃料及び燃料・油脂類・消耗品の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 編成人員での () 内は、高所作業車(地上10m以上)の場合とする。 4. 塗装除去作業がない場合は、日当り作業量を30%増しとする。 5. 本歩掛には、トルシア型ボルトのピンテール部をグラインダーなどで平滑に仕上げる作業は含まないものとする。平滑作業を行う場合は表2-8による。 6. トラス橋・アーチ橋などは、構造及び現地条件等を考慮すべき点が多いため別途積算とする。 ②-5 ワンサイドボルト本締工 ワンサイドボルト本締工の歩掛は、次表を標準とする。補修工事全体で使用可能とする。 表2-5 ワンサイドボルト本締工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">α (本/日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>2</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>15</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛 参照 付表-1 日当り施工量 (α) <table><tr><th>施工量 (本)</th><th>α</th></tr><tr><td>100未満</td><td>60</td></tr><tr><td>100以上</td><td>120</td></tr></table> (注) 1. 施工量は、1群当りの施工数量とする。 2. 諸雑費は、発動発電機賃料・燃料・油脂類、ワンサイドボルト締付工具賃料等であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 母材の孔明けによる切欠切屑 (バリ) 等の除去を含む。	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	$n \geq 180$ のとき $Q = 180$ (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	4 (6)	普通作業員	1			17	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	α (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	2	普通作業員	1			15	施工量 (本)	α	100未満	60	100以上	120	② 高力ボルト工 (リベット含む) 367 ②-4 高力ボルト取替工 高力ボルト取替工は、総本数180本以上（上部工は1橋単位、下部工は1橋脚単位を標準）とする。なお、180本未満の場合は別途積算する。主桁上フランジ部の床版コンクリートの中に埋っている高力ボルトなどの特殊箇所は、別途積算とする。 表2-4 高力ボルト取替工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">$n \geq 180$ のとき $Q = 180$ (本/日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>4 (6)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>17</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-4-1 高力ボルト取替工歩掛 参照 (注) 1. n : 取替高力ボルト総本数 (本) 2. 諸雑費は、発動発電機賃料、本線工具賃料、塗装除去工具賃料及び燃料・油脂類・消耗品の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 編成人員での () 内は、高所作業車を用いる場合とする。使用する高所作業車は賃料を別途計上する。 4. 塗装除去作業がない場合は、日当り作業量を30%増しとする。 5. 本歩掛には、トルシア型ボルトのピンテール部をグラインダーなどで平滑に仕上げる作業は含まないものとする。平滑作業を行う場合は表2-8による。 6. トラス橋・アーチ橋などは、構造及び現地条件等を考慮すべき点が多いため別途積算とする。 ②-5 ワンサイドボルト本締工 ワンサイドボルト本締工の歩掛は、次表を標準とする。補修工事全体で使用可能とする。 表2-5 ワンサイドボルト本締工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">α (本/日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>2</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>15</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛 参照 付表-1 日当り施工量 (α) <table><tr><th>施工量 (本)</th><th>α</th></tr><tr><td>100未満</td><td>60</td></tr><tr><td>100以上</td><td>120</td></tr></table> (注) 1. 施工量は、1群当りの施工数量とする。 2. 諸雑費は、発動発電機賃料・燃料・油脂類、ワンサイドボルト締付工具賃料等であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 母材の孔明けによる切欠切屑 (バリ) 等の除去を含む。	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	$n \geq 180$ のとき $Q = 180$ (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	4 (6)	普通作業員	1			17	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	α (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	2	普通作業員	1			15	施工量 (本)	α	100未満	60	100以上	120
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																	
$n \geq 180$ のとき $Q = 180$ (本/日)	橋りょう世話役	1																																																																	
	橋りょう特殊工	4 (6)																																																																	
	普通作業員	1																																																																	
		17																																																																	
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																	
α (本/日)	橋りょう世話役	1																																																																	
	橋りょう特殊工	2																																																																	
	普通作業員	1																																																																	
		15																																																																	
施工量 (本)	α																																																																		
100未満	60																																																																		
100以上	120																																																																		
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																	
$n \geq 180$ のとき $Q = 180$ (本/日)	橋りょう世話役	1																																																																	
	橋りょう特殊工	4 (6)																																																																	
	普通作業員	1																																																																	
		17																																																																	
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																	
α (本/日)	橋りょう世話役	1																																																																	
	橋りょう特殊工	2																																																																	
	普通作業員	1																																																																	
		15																																																																	
施工量 (本)	α																																																																		
100未満	60																																																																		
100以上	120																																																																		

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																
368	第7章② 高力ボルト工 (リベット含 む)	368 第7章 歩掛編 ②-6 特殊 HTB 工(孔明け + 本締工連続作業) 特殊 HTB 工は、孔明け + 本締工を連続して施工する作業であり、歩掛は次表を標準とする。 表2-6 特殊 HTB 工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸経費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">$Q = 66.1 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)</td><td>構りよう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>構りよう特殊工</td><td>3</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>23</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-10-4 特殊 HTB 工歩掛 参照 (注) 1. 設計対象数量は、各橋脚・板厚別毎とする。 2. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料・油脂類・架設工具及び消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. α : 施工量による係数 β : 孔明部材施工方法による係数 γ : 材質による係数 δ : 橋脚形式係数 4. 本歩掛には、トルシア型ボルトのピンテール跡をグラインダーなどで平滑に仕上げる作業は含まないものとする。平滑作業を行う場合は別途計上とする。 付表-1 施工量による係数 (α) <table><tr><th>1箇所当り (本)</th><th>α</th></tr><tr><td>～200まで</td><td>0.98</td></tr><tr><td>201～500まで</td><td>1.00</td></tr><tr><td>501～1,000まで</td><td>1.06</td></tr><tr><td>1,001以上</td><td>1.10</td></tr></table> 付表-2 施工方法による係数 (β) <table><tr><th>板厚 t (mm)</th><th>β (ケース1)</th><th>β (ケース2)</th></tr><tr><td>$t \leq 30$</td><td>1.25</td><td>1.00</td></tr><tr><td>$30 < t \leq 40$</td><td>1.18</td><td>0.91</td></tr><tr><td>$40 < t \leq 50$</td><td>1.13</td><td>0.88</td></tr><tr><td>$50 < t \leq 60$</td><td>1.10</td><td>0.84</td></tr></table> 付表-3 材質による係数 (γ) <table><tr><th>材質</th><th>γ</th></tr><tr><td>SS400</td><td>1.45</td></tr><tr><td>SM490</td><td>1.23</td></tr><tr><td>SM570</td><td>1.00</td></tr></table> 付表-4 橋脚形式による係数 (δ) <table><tr><th>形式</th><th>δ</th></tr><tr><td>角柱</td><td>1.30</td></tr><tr><td>円柱</td><td>1.00</td></tr><tr><td>橋梁</td><td>1.30</td></tr><tr><td>主桁部</td><td>1.50</td></tr></table> 施工方法による係数 (β) の考え方 ケース1 : 補強材を工場にて正孔 + 橋脚部材現場孔明け作業 ケース2 : 補強材・橋脚部材両方とも現場孔明け作業 板厚の考え方  孔明用ドリル刃の本数の算出方法 ドリル刃本数 = 孔明数 / (20ヶ × 施工方法係数 (β) × 材質係数 (γ))	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	$Q = 66.1 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)	構りよう世話役	1	構りよう特殊工	3	普通作業員	1			23	1箇所当り (本)	α	～200まで	0.98	201～500まで	1.00	501～1,000まで	1.06	1,001以上	1.10	板厚 t (mm)	β (ケース1)	β (ケース2)	$t \leq 30$	1.25	1.00	$30 < t \leq 40$	1.18	0.91	$40 < t \leq 50$	1.13	0.88	$50 < t \leq 60$	1.10	0.84	材質	γ	SS400	1.45	SM490	1.23	SM570	1.00	形式	δ	角柱	1.30	円柱	1.00	橋梁	1.30	主桁部	1.50	368 第7章 歩掛編 ②-6 特殊 HTB 工(孔明け + 本締工連続作業) 特殊 HTB 工は、孔明け + 本締工を連続して施工する作業であり、歩掛は次表を標準とする。 表2-6 特殊 HTB 工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸経費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">$Q = 66.1 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)</td><td>構りよう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>構りよう特殊工</td><td>3</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>23</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-10-4 特殊 HTB 工歩掛 参照 (注) 1. 積算対象数量は、各橋脚・板厚別毎とする。 2. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料・油脂類・架設工具及び消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. α : 施工量による係数 β : 孔明部材施工方法による係数 γ : 材質による係数 δ : 橋脚形式係数 4. 本歩掛には、トルシア型ボルトのピンテール跡をグラインダーなどで平滑に仕上げる作業は含まない。平滑作業を行う場合は表2-8による。 5. 孔明用ドリル刃を別途計上する。 付表-1 施工量による係数 (α) <table><tr><th>1箇所当り (本)</th><th>α</th></tr><tr><td>～200まで</td><td>0.98</td></tr><tr><td>201～500まで</td><td>1.00</td></tr><tr><td>501～1,000まで</td><td>1.06</td></tr><tr><td>1,001以上</td><td>1.10</td></tr></table> 付表-2 施工方法による係数 (β) <table><tr><th>板厚 t (mm)</th><th>β (ケース1)</th><th>β (ケース2)</th></tr><tr><td>$t \leq 30$</td><td>1.25</td><td>1.00</td></tr><tr><td>$30 < t \leq 40$</td><td>1.18</td><td>0.91</td></tr><tr><td>$40 < t \leq 50$</td><td>1.13</td><td>0.88</td></tr><tr><td>$50 < t \leq 60$</td><td>1.10</td><td>0.84</td></tr></table> 付表-3 材質による係数 (γ) <table><tr><th>材質</th><th>γ</th></tr><tr><td>SS400</td><td>1.45</td></tr><tr><td>SM490</td><td>1.23</td></tr><tr><td>SM570</td><td>1.00</td></tr></table> 付表-4 橋脚形式による係数 (δ) <table><tr><th>形式</th><th>δ</th></tr><tr><td>角柱</td><td>1.30</td></tr><tr><td>円柱</td><td>1.00</td></tr><tr><td>橋梁</td><td>1.30</td></tr><tr><td>主桁部</td><td>1.50</td></tr></table> 施工方法による係数 (β) の考え方 ケース1 : 取付け補強材を工場にて正孔 + 橋脚部材現場孔明け作業 ケース2 : 取付け補強材・橋脚部材両方とも現場孔明け作業 板厚の考え方  孔明用ドリル刃の本数の算出方法 ドリル刃本数 = 孔明数 / (20ヶ × 施工方法係数 (β) × 材質係数 (γ))	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	$Q = 66.1 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)	構りよう世話役	1	構りよう特殊工	3	普通作業員	1			23	1箇所当り (本)	α	～200まで	0.98	201～500まで	1.00	501～1,000まで	1.06	1,001以上	1.10	板厚 t (mm)	β (ケース1)	β (ケース2)	$t \leq 30$	1.25	1.00	$30 < t \leq 40$	1.18	0.91	$40 < t \leq 50$	1.13	0.88	$50 < t \leq 60$	1.10	0.84	材質	γ	SS400	1.45	SM490	1.23	SM570	1.00	形式	δ	角柱	1.30	円柱	1.00	橋梁	1.30	主桁部	1.50
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																																																																																																	
$Q = 66.1 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)	構りよう世話役	1																																																																																																																	
	構りよう特殊工	3																																																																																																																	
	普通作業員	1																																																																																																																	
		23																																																																																																																	
1箇所当り (本)	α																																																																																																																		
～200まで	0.98																																																																																																																		
201～500まで	1.00																																																																																																																		
501～1,000まで	1.06																																																																																																																		
1,001以上	1.10																																																																																																																		
板厚 t (mm)	β (ケース1)	β (ケース2)																																																																																																																	
$t \leq 30$	1.25	1.00																																																																																																																	
$30 < t \leq 40$	1.18	0.91																																																																																																																	
$40 < t \leq 50$	1.13	0.88																																																																																																																	
$50 < t \leq 60$	1.10	0.84																																																																																																																	
材質	γ																																																																																																																		
SS400	1.45																																																																																																																		
SM490	1.23																																																																																																																		
SM570	1.00																																																																																																																		
形式	δ																																																																																																																		
角柱	1.30																																																																																																																		
円柱	1.00																																																																																																																		
橋梁	1.30																																																																																																																		
主桁部	1.50																																																																																																																		
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																																																																																																	
$Q = 66.1 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)	構りよう世話役	1																																																																																																																	
	構りよう特殊工	3																																																																																																																	
	普通作業員	1																																																																																																																	
		23																																																																																																																	
1箇所当り (本)	α																																																																																																																		
～200まで	0.98																																																																																																																		
201～500まで	1.00																																																																																																																		
501～1,000まで	1.06																																																																																																																		
1,001以上	1.10																																																																																																																		
板厚 t (mm)	β (ケース1)	β (ケース2)																																																																																																																	
$t \leq 30$	1.25	1.00																																																																																																																	
$30 < t \leq 40$	1.18	0.91																																																																																																																	
$40 < t \leq 50$	1.13	0.88																																																																																																																	
$50 < t \leq 60$	1.10	0.84																																																																																																																	
材質	γ																																																																																																																		
SS400	1.45																																																																																																																		
SM490	1.23																																																																																																																		
SM570	1.00																																																																																																																		
形式	δ																																																																																																																		
角柱	1.30																																																																																																																		
円柱	1.00																																																																																																																		
橋梁	1.30																																																																																																																		
主桁部	1.50																																																																																																																		

369

第7章②

高力ボルト工
(リベット含む)

改定前

高力ボルト工 (リベット含む) 369

②-7 支圧 HTB 工(孔明け+打込み+本締工連続作業)

支圧 HTB 工は、孔明け+本締工を連続して施工する作業であり、歩掛は次表を標準とする。

表 2-7 支圧 HTB 工歩掛

日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)
$Q = 17.2 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)	橋りょう世話役	1
	橋りょう特殊工	3
	普通作業員	1

橋梁架設工事の積算 表 4-10-5 支圧 HTB 工歩掛 参照
(注) 1. 設計対象数量は、各橋脚・橋厚別毎とする。
2. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料、油類、架設工具及び消耗材料の費用であり、
労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
3. α : 施工量による係数 β : 孔明部材施工方法による係数
 γ : 材質による係数 δ : 橋脚形式係数

付表-1 施工量による係数 (α)

1箇所当り (本)	α
~200まで	1.00
201~500まで	1.17
501以上	1.62

付表-2 施工方法による係数 (β)

板厚 t (mm)	β (ケース1)	β (ケース2)
$t \leq 30$	1.25	1.00
$30 < t \leq 40$	1.18	0.91
$40 < t \leq 50$	1.13	0.88
$50 < t \leq 60$	1.10	0.84

付表-3 材質による係数 (γ)

材質	γ
SS400	1.45
SM490	1.23
SM570	1.00

付表-4 橋脚形式による係数 (δ)

形式	δ
角柱	1.30
円柱	1.00
横梁	1.30
主桁部	1.50

施工方法による係数 (β) の考え方

ケース1: 取付け補強材を工場にて正孔+橋脚部材現場孔明け作業

ケース2: 取付け補強材・橋脚部材両方とも現場孔明け作業

板厚の考え方

孔明用ドリル刃の本数の算出方法

ドリル刃本数=孔明数/(20×施工方法係数 (β) ×材質係数 (γ))

②-8 ピンテール仕上げ工

ピンテール仕上げ工の歩掛は、次表を標準とする。

表 2-8 ピンテール仕上げ工歩掛

日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)
$Dr < 250$ 本…250本/日 $Dr \geq 250$ 本…1,000本/日	橋りょう特殊工	2

橋梁架設工事の積算 表 4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛 参照
(注) 1. Dr はピンテール仕上げ総本数。
2. 本歩掛は、トルシア型高力ボルトのピンテール破断面を専用工具で平滑に仕上げる作業に適用する。
3. 諸経費は、専用工具賃料、磨刃等の消耗材料及び発動発電機賃料、燃料、油類等の費用で、
労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

改定後

② 高力ボルト工 (リベット含む) 369

②-7 支圧 HTB 工(孔明け+打込み+本締工連続作業)

支圧 HTB 工は、孔明け+本締工を連続して施工する作業であり、歩掛は次表を標準とする。

表 2-7 支圧 HTB 工歩掛

日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)
$Q = 17.2 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)	橋りょう世話役	1
	橋りょう特殊工	3
	普通作業員	1

橋梁架設工事の積算 表 4-10-5 支圧 HTB 工歩掛 参照
(注) 1. 積算対象数量は、各橋脚・橋厚別毎とする。
2. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料、油類、架設工具及び消耗材料の費用であり、
労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
3. α : 施工量による係数 β : 孔明部材施工方法による係数
 γ : 材質による係数 δ : 橋脚形式係数
4. 孔明用ドリル刃を別途計上する。

付表-1 施工量による係数 (α)

1箇所当り (本)	α
~200まで	1.00
201~500まで	1.17
501以上	1.62

付表-2 施工方法による係数 (β)

板厚 t (mm)	β (ケース1)	β (ケース2)
$t \leq 30$	1.25	1.00
$30 < t \leq 40$	1.18	0.91
$40 < t \leq 50$	1.13	0.88
$50 < t \leq 60$	1.10	0.84

付表-3 材質による係数 (γ)

材質	γ
SS400	1.45
SM490	1.23
SM570	1.00

付表-4 橋脚形式による係数 (δ)

形式	δ
角柱	1.30
円柱	1.00
横梁	1.30
主桁部	1.50

施工方法による係数 (β) の考え方

ケース1: 取付け補強材を工場にて正孔+橋脚部材現場孔明け作業

ケース2: 取付け補強材・橋脚部材両方とも現場孔明け作業

板厚の考え方

孔明用ドリル刃の本数の算出方法

ドリル刃本数=孔明数/(20×施工方法係数 (β) ×材質係数 (γ))

②-8 ピンテール仕上げ工

ピンテール仕上げ工の歩掛は、次表を標準とする。

表 2-8 ピンテール仕上げ工歩掛

日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)
$Dr < 250$ 本…250本/日 $Dr \geq 250$ 本…1,000本/日	橋りょう特殊工	2

橋梁架設工事の積算 表 4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛 参照
(注) 1. Dr はピンテール仕上げ総本数。
2. 本歩掛は、トルシア型高力ボルトのピンテール破断面を専用工具で平滑に仕上げる作業に適用する。
3. 諸経費は、専用工具賃料、磨刃等の消耗材料及び発動発電機賃料、燃料、油類等の費用で、
労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

頁	項目	改定前	改定後																																																																																								
370	第7章② 高力ボルト工 (リベット含む)	370 第7章 歩掛編 ②-9 リベット撤去工 リベット撤去工の歩掛は、次表を標準とする。 表2-9 リベット撤去工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸経費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">86 (本/日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>3</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-10-9 リベット撤去工歩掛 参照 (注) 1. 設計対象数量は、各橋脚毎とする。 2. 諸経費は発動発電機の賃料、燃料・油価類、架設工具及び消耗材料の費用であり労務費の合計に上記表の率を乗じた金額を上限として計上する。 ドリル刃の消耗数の算出方法 ドリル刃本数＝リベット数／20本 (別途計上) ②-10 鋼桁孔明工 鋼桁孔明工の歩掛は、次表を標準とする。 表2-10 鋼桁孔明工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸経費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">$Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし、$80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>3</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛 参照 (注) 1. n：現場孔明け総本数 2. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料・油価類、電気ドリルの賃料、ドリル刃、消耗材料等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 付表-1 材質による係数 (α) <table><tr><th>材質</th><th>α</th></tr><tr><td>SS400</td><td>1.2</td></tr><tr><td>SM490</td><td>1.0</td></tr><tr><td>SM570</td><td>0.8</td></tr></table> 付表-2 板厚による係数 (β) <table><tr><th>板厚 t (mm)</th><th>β</th></tr><tr><td>$t \leq 30$</td><td>1.00</td></tr><tr><td>$30 < t \leq 40$</td><td>0.91</td></tr><tr><td>$40 < t \leq 50$</td><td>0.88</td></tr><tr><td>$50 < t \leq 60$</td><td>0.84</td></tr></table> 付表-3 作業姿勢による係数 (γ) <table><tr><th>姿勢</th><th>γ</th></tr><tr><td>水平及び下向き</td><td>1.0</td></tr><tr><td>上向き</td><td>0.6</td></tr></table> (注) 姿勢が2種類以上ある時は、γは加重平均とする。	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	86 (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	$Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし、 $80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	材質	α	SS400	1.2	SM490	1.0	SM570	0.8	板厚 t (mm)	β	$t \leq 30$	1.00	$30 < t \leq 40$	0.91	$40 < t \leq 50$	0.88	$50 < t \leq 60$	0.84	姿勢	γ	水平及び下向き	1.0	上向き	0.6	370 第7章 歩掛編 ②-9 リベット撤去工 リベット撤去工の歩掛は、次表を標準とする。 表2-9 リベット撤去工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸経費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">86 (本/日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>3</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-10-9 リベット撤去工歩掛 参照 (注) 1. 積算対象数量は、各橋脚毎とする。 2. 諸経費は発動発電機の賃料、燃料・油価類、架設工具及び消耗材料の費用であり労務費の合計に上記表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. リベット撤去用ドリル刃を別途計上する。 ドリル刃の消耗数の算出方法 ドリル刃本数＝リベット数／20本 (別途計上) ②-10 鋼桁孔明工 鋼桁孔明工の歩掛は、次表を標準とする。 表2-10 鋼桁孔明工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸経費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">$Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし、$80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>3</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛 参照 (注) 1. n：現場孔明け総本数 2. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料・油価類、電気ドリルの賃料、ドリル刃、消耗材料等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 付表-1 材質による係数 (α) <table><tr><th>材質</th><th>α</th></tr><tr><td>SS400</td><td>1.2</td></tr><tr><td>SM490</td><td>1.0</td></tr><tr><td>SM570</td><td>0.8</td></tr></table> 付表-2 板厚による係数 (β) <table><tr><th>板厚 t (mm)</th><th>β</th></tr><tr><td>$t \leq 30$</td><td>1.00</td></tr><tr><td>$30 < t \leq 40$</td><td>0.91</td></tr><tr><td>$40 < t \leq 50$</td><td>0.88</td></tr><tr><td>$50 < t \leq 60$</td><td>0.84</td></tr></table> 付表-3 作業姿勢による係数 (γ) <table><tr><th>姿勢</th><th>γ</th></tr><tr><td>水平及び下向き</td><td>1.0</td></tr><tr><td>上向き</td><td>0.6</td></tr></table> (注) 姿勢が2種類以上ある時は、γは加重平均とする。	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	86 (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	$Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし、 $80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	材質	α	SS400	1.2	SM490	1.0	SM570	0.8	板厚 t (mm)	β	$t \leq 30$	1.00	$30 < t \leq 40$	0.91	$40 < t \leq 50$	0.88	$50 < t \leq 60$	0.84	姿勢	γ	水平及び下向き	1.0	上向き	0.6
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																																																																									
86 (本/日)	橋りょう世話役	1																																																																																									
	橋りょう特殊工	3																																																																																									
	普通作業員	1																																																																																									
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																																																																									
$Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし、 $80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$	橋りょう世話役	1																																																																																									
	橋りょう特殊工	3																																																																																									
	普通作業員	1																																																																																									
材質	α																																																																																										
SS400	1.2																																																																																										
SM490	1.0																																																																																										
SM570	0.8																																																																																										
板厚 t (mm)	β																																																																																										
$t \leq 30$	1.00																																																																																										
$30 < t \leq 40$	0.91																																																																																										
$40 < t \leq 50$	0.88																																																																																										
$50 < t \leq 60$	0.84																																																																																										
姿勢	γ																																																																																										
水平及び下向き	1.0																																																																																										
上向き	0.6																																																																																										
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																																																																									
86 (本/日)	橋りょう世話役	1																																																																																									
	橋りょう特殊工	3																																																																																									
	普通作業員	1																																																																																									
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																																																																									
$Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし、 $80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$	橋りょう世話役	1																																																																																									
	橋りょう特殊工	3																																																																																									
	普通作業員	1																																																																																									
材質	α																																																																																										
SS400	1.2																																																																																										
SM490	1.0																																																																																										
SM570	0.8																																																																																										
板厚 t (mm)	β																																																																																										
$t \leq 30$	1.00																																																																																										
$30 < t \leq 40$	0.91																																																																																										
$40 < t \leq 50$	0.88																																																																																										
$50 < t \leq 60$	0.84																																																																																										
姿勢	γ																																																																																										
水平及び下向き	1.0																																																																																										
上向き	0.6																																																																																										

頁	項目	改定前	改定後																																								
372	第 7 章③ 現場溶接工	372 第 7 章 歩掛編 ③ 現場溶接工 ③-1 現場溶接工 現場溶接工の歩掛は、次表を標準とする。 表 3-1 現場溶接工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量 G</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td>$G=25 \times \alpha \times \beta$ (m / 日) (6mm すみ肉長)</td><td>横りよう世話役 横りよう特殊工</td><td>1 4 14</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表 4-10-8 現場溶接工歩掛 参照 (注) 1. 諸雑費は、電気溶接機、電力に関する経費、グラインダーの運転経費及び溶接棒等の費用であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 設計対象数量は、各橋脚・板厚 (平均) 毎とする。 G: 1 日当りの作業量 (m / 日) ただし、溶接長はすみ肉 6mm 換算長とする。 α: 溶接姿勢による係数 (付表-1) β: 溶接施工箇所による施工能率係数 (付表-2) 3. 本体母材質 SM570 以上は見積り対応とする。 4. 横りよう特殊工は、その工事に必要な溶接資格を得ている者とする。 5. 非破壊検査費を別途計上する。 付表-1 溶接姿勢による係数 (α) <table><tr><th>姿勢</th><th>下向き、水平</th><th>立向き</th><th>上向き</th></tr><tr><td>α</td><td>1.0</td><td>0.8</td><td>0.6</td></tr></table> (注) 姿勢が 2 種類以上ある時は、α は加重平均とする。 付表-2 溶接施工箇所による施工能率係数 (β) <table><tr><th>溶接施工箇所</th><th>橋脚外部</th><th>橋脚内部</th></tr><tr><td>β</td><td>1.0</td><td>0.7</td></tr></table>	日当り施工量 G	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	$G=25 \times \alpha \times \beta$ (m / 日) (6mm すみ肉長)	横りよう世話役 横りよう特殊工	1 4 14	姿勢	下向き、水平	立向き	上向き	α	1.0	0.8	0.6	溶接施工箇所	橋脚外部	橋脚内部	β	1.0	0.7	372 第 7 章 歩掛編 ③ 現場溶接工 ③-1 現場溶接工 現場溶接工の歩掛は、次表を標準とする。 表 3-1 現場溶接工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量 G</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td>$G=25 \times \alpha \times \beta$ (m / 日) (6mm すみ肉長)</td><td>横りよう世話役 横りよう特殊工</td><td>1 4 14</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表 4-10-8 現場溶接工歩掛 参照 (注) 1. 諸雑費は、電気溶接機、電力に関する経費、グラインダーの運転経費及び溶接棒等の費用であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 積算対象数量は、各橋脚・板厚 (平均) 毎とする。 G: 1 日当りの作業量 (m / 日) ただし、溶接長はすみ肉 6mm 換算長とする。 α: 溶接姿勢による係数 (付表-1) β: 溶接施工箇所による施工能率係数 (付表-2) 3. 本体母材質 SM570 以上は見積り対応とする。 4. 横りよう特殊工は、その工事に必要な溶接資格を得ているものをきむ。 5. 非破壊検査費を別途計上する。 付表-1 溶接姿勢による係数 (α) <table><tr><th>姿勢</th><th>下向き、水平</th><th>立向き</th><th>上向き</th></tr><tr><td>α</td><td>1.0</td><td>0.8</td><td>0.6</td></tr></table> (注) 姿勢が 2 種類以上ある時は、α は加重平均とする。 付表-2 溶接施工箇所による施工能率係数 (β) <table><tr><th>溶接施工箇所</th><th>橋脚外部</th><th>橋脚内部</th></tr><tr><td>β</td><td>1.0</td><td>0.7</td></tr></table>	日当り施工量 G	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	$G=25 \times \alpha \times \beta$ (m / 日) (6mm すみ肉長)	横りよう世話役 横りよう特殊工	1 4 14	姿勢	下向き、水平	立向き	上向き	α	1.0	0.8	0.6	溶接施工箇所	橋脚外部	橋脚内部	β	1.0	0.7
日当り施工量 G	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																									
$G=25 \times \alpha \times \beta$ (m / 日) (6mm すみ肉長)	横りよう世話役 横りよう特殊工	1 4 14																																									
姿勢	下向き、水平	立向き	上向き																																								
α	1.0	0.8	0.6																																								
溶接施工箇所	橋脚外部	橋脚内部																																									
β	1.0	0.7																																									
日当り施工量 G	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																									
$G=25 \times \alpha \times \beta$ (m / 日) (6mm すみ肉長)	横りよう世話役 横りよう特殊工	1 4 14																																									
姿勢	下向き、水平	立向き	上向き																																								
α	1.0	0.8	0.6																																								
溶接施工箇所	橋脚外部	橋脚内部																																									
β	1.0	0.7																																									

頁	項目	改定前	改定後																																																																			
374	第7章④ ガス切断工	374 第7章 歩掛編 ④ ガス切断工 ④-1 ガス切断切削仕上工 ガス切断切削仕上工の歩掛は、次表を標準とする。 表4-1 ガス切断切削仕上工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>労務編成 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="2">$2.8 \times \alpha \times \beta$ (m/日)</td><td>横りよう世話役</td><td>1.0</td></tr><tr><td>横りよう特殊工</td><td>2.7</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>33</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-10-3 ガス切断切削仕上工歩掛 参照 (注) 1. 日当り施工量を算出する設計対象数量は、各橋脚毎で平均板厚とする。 2. ガス切断切削仕上げは部材を切断して、新規部材を取り付けるため、本体の部材面まで平滑に仕上げる。 なお、切断面を所定寸法で円滑仕上げまでの場合には、④-2 表4-3 補修工事 ガス切断工 (切削仕上げ) 歩掛を適用する。 3. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具及び消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 部材撤去工及び部材取下的し工は別途計上する。 施工フロー <table><tr><td>野 書 ぎ</td></tr><tr><td>↓</td></tr><tr><td>ガ ス 切 断</td></tr><tr><td>↓</td></tr><tr><td>部 材 切 削</td></tr></table> 付表-1 切断部材板厚による補正係数 (α) <table><tr><th>板厚 t (mm)</th><th>α</th></tr><tr><td>$6 \leq t \leq 10$</td><td>1.00</td></tr><tr><td>$10 < t \leq 15$</td><td>0.83</td></tr><tr><td>$15 < t \leq 20$</td><td>0.75</td></tr><tr><td>$20 < t \leq 25$</td><td>0.64</td></tr><tr><td>$25 < t \leq 30$</td><td>0.55</td></tr></table> 付表-2 施工箇所部位による補正係数 (β) <table><tr><th>施工部位</th><th>β</th></tr><tr><td>桁外面</td><td>1.0</td></tr><tr><td>箱桁内面</td><td>0.7</td></tr></table> 凡 例 374 第7章 歩掛編 ④ ガス切断工 ④-1 ガス切断切削仕上工 ガス切断切削仕上工の歩掛は、次表を標準とする。 表4-1 ガス切断切削仕上工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>労務編成 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="2">$2.8 \times \alpha \times \beta$ (m/日)</td><td>横りよう世話役</td><td>1.0</td></tr><tr><td>横りよう特殊工</td><td>2.7</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>33</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-10-3 ガス切断切削仕上工歩掛 参照 (注) 1. 日当り施工量を算出する設計対象数量は、各橋脚毎で平均板厚とする。 2. ガス切断切削仕上げは部材を切断して新規部材を取り付けるため、本体の部材面まで平滑に仕上げる。 なお、切断面を所定寸法で円滑仕上げまでの場合には、④-2 表4-3 補修工事 ガス切断工 (切削仕上げ) 歩掛を適用する。 3. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具及び消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 部材撤去工及び部材取下的し工は別途計上する。 5. α: 板厚による係数 (付表-1) β: 施工箇所部位による係数 (付表-2) 施工フロー <table><tr><td>野 書 ぎ</td></tr><tr><td>↓</td></tr><tr><td>ガ ス 切 断</td></tr><tr><td>↓</td></tr><tr><td>部 材 切 削</td></tr></table> 付表-1 切断部材板厚による補正係数 (α) <table><tr><th>板厚 t (mm)</th><th>α</th></tr><tr><td>$6 \leq t \leq 10$</td><td>1.00</td></tr><tr><td>$10 < t \leq 15$</td><td>0.83</td></tr><tr><td>$15 < t \leq 20$</td><td>0.75</td></tr><tr><td>$20 < t \leq 25$</td><td>0.64</td></tr><tr><td>$25 < t \leq 30$</td><td>0.55</td></tr></table> 付表-2 施工箇所部位による補正係数 (β) <table><tr><th>施工部位</th><th>β</th></tr><tr><td>桁外面</td><td>1.0</td></tr><tr><td>箱桁内面</td><td>0.7</td></tr></table> 凡 例	日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)	$2.8 \times \alpha \times \beta$ (m/日)	横りよう世話役	1.0	横りよう特殊工	2.7			33	野 書 ぎ	↓	ガ ス 切 断	↓	部 材 切 削	板厚 t (mm)	α	$6 \leq t \leq 10$	1.00	$10 < t \leq 15$	0.83	$15 < t \leq 20$	0.75	$20 < t \leq 25$	0.64	$25 < t \leq 30$	0.55	施工部位	β	桁外面	1.0	箱桁内面	0.7	日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)	$2.8 \times \alpha \times \beta$ (m/日)	横りよう世話役	1.0	横りよう特殊工	2.7			33	野 書 ぎ	↓	ガ ス 切 断	↓	部 材 切 削	板厚 t (mm)	α	$6 \leq t \leq 10$	1.00	$10 < t \leq 15$	0.83	$15 < t \leq 20$	0.75	$20 < t \leq 25$	0.64	$25 < t \leq 30$	0.55	施工部位	β	桁外面	1.0	箱桁内面	0.7
日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)																																																																				
$2.8 \times \alpha \times \beta$ (m/日)	横りよう世話役	1.0																																																																				
	横りよう特殊工	2.7																																																																				
		33																																																																				
野 書 ぎ																																																																						
↓																																																																						
ガ ス 切 断																																																																						
↓																																																																						
部 材 切 削																																																																						
板厚 t (mm)	α																																																																					
$6 \leq t \leq 10$	1.00																																																																					
$10 < t \leq 15$	0.83																																																																					
$15 < t \leq 20$	0.75																																																																					
$20 < t \leq 25$	0.64																																																																					
$25 < t \leq 30$	0.55																																																																					
施工部位	β																																																																					
桁外面	1.0																																																																					
箱桁内面	0.7																																																																					
日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)																																																																				
$2.8 \times \alpha \times \beta$ (m/日)	横りよう世話役	1.0																																																																				
	横りよう特殊工	2.7																																																																				
		33																																																																				
野 書 ぎ																																																																						
↓																																																																						
ガ ス 切 断																																																																						
↓																																																																						
部 材 切 削																																																																						
板厚 t (mm)	α																																																																					
$6 \leq t \leq 10$	1.00																																																																					
$10 < t \leq 15$	0.83																																																																					
$15 < t \leq 20$	0.75																																																																					
$20 < t \leq 25$	0.64																																																																					
$25 < t \leq 30$	0.55																																																																					
施工部位	β																																																																					
桁外面	1.0																																																																					
箱桁内面	0.7																																																																					

頁	項目	改定前	改定後																																																																																
378	第7章⑥ 検査路撤去・再設置工	378 第7章 歩掛編 ⑥ 検査路撤去・再設置工 補修工事における、検査路撤去・再設置工事の歩掛は、表6－1及び表6－2を標準とする。 落橋防止装置設置に当り、検査路本体及び手摺等が干渉する場合に、撤去して再設置を行う場合に使用する。 新規に全体を設置する場合は使用しない。 ⑥－1 検査路撤去工 表6－1 検査路撤去工歩掛 <table><tr><th>種 別</th><th>項 目</th><th>日当り施工量</th><th colspan="2">編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">撤去工</td><td>廃 棄</td><td>1.30 (t / 日)</td><td>構りよう世話役</td><td>1</td><td rowspan="3">4</td></tr><tr><td rowspan="2">再 利 用</td><td rowspan="2">0.98 (t / 日)</td><td>構りよう特殊工</td><td>4</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4－22－2 部材撤去工歩掛 (注) 1. クレーン賃料及び高所作業車、架設工具機料等を別途計上する。 2. アンカー孔処理を実施する場合は別途計上する。 3. 諸雑費は、撤去用雑材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 ⑥－2 検査路再設置工 表6－2 検査路再設置工歩掛 <table><tr><th>種 別</th><th>項 目</th><th>日当り施工量</th><th colspan="2">編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="4">再設置工</td><td>新 規 材</td><td>0.82 (t / 日)</td><td>構りよう世話役</td><td>1</td><td rowspan="4">4</td></tr><tr><td>再 利 用 材</td><td>0.77 (t / 日)</td><td rowspan="2">構りよう特殊工</td><td rowspan="2">4</td></tr><tr><td>F R P 検 査 路</td><td>3.6 (部材 / 日)</td></tr><tr><td>ア ル ミ 検 査 路</td><td>12 (m / 日)</td><td>普 通 作 業 員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4－22－3 部材再設置工歩掛 (注) 1. 諸雑費は組立用雑材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. FRP 検査路部材長は平均4.0mから6.0mとし、手摺材・床材を組立てた形状を標準とする。 3. クレーン賃料及び高所作業車、架設工具機料等を別途計上する。 4. アルミ検査路は歩幅部と昇降はしこの延長とする。 5. アルミ検査路を設置する場合、吊足場上への荷役機械として、25 t 吊りラフテレンクレーンを計上する。 6. アンカーの穿孔及び取付は別途計上する。	種 別	項 目	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	撤去工	廃 棄	1.30 (t / 日)	構りよう世話役	1	4	再 利 用	0.98 (t / 日)	構りよう特殊工	4	普 通 作 業 員	1	種 別	項 目	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	再設置工	新 規 材	0.82 (t / 日)	構りよう世話役	1	4	再 利 用 材	0.77 (t / 日)	構りよう特殊工	4	F R P 検 査 路	3.6 (部材 / 日)	ア ル ミ 検 査 路	12 (m / 日)	普 通 作 業 員	1	378 第7章 歩掛編 ⑥ 検査路撤去・再設置工 補修工事における、検査路撤去・再設置工事の歩掛は、表6－1及び表6－2を標準とする。 落橋防止装置設置に当り、検査路本体及び手摺等が干渉する場合に、撤去して再設置を行う場合に使用する。 新規に全体を設置する場合は使用しない。 ⑥－1 検査路撤去工 表6－1 検査路撤去工歩掛 <table><tr><th>種 別</th><th>項 目</th><th>日当り施工量</th><th colspan="2">編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">撤去工</td><td>廃 棄</td><td>1.30 (t / 日)</td><td>構りよう世話役</td><td>1</td><td rowspan="3">4</td></tr><tr><td rowspan="2">再 利 用</td><td rowspan="2">0.98 (t / 日)</td><td>構りよう特殊工</td><td>4</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4－22－2 部材撤去工歩掛 (注) 1. クレーン賃料及び高所作業車、架設工具機料等を別途計上する。 2. アンカー孔処理を実施する場合は別途計上する。 3. 諸雑費は、撤去用雑材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 検査路支持金具 (ブラケット) も撤去する場合は撤去数量 (質量) に含めて計上する。 ⑥－2 検査路再設置工 表6－2 検査路再設置工歩掛 <table><tr><th>種 別</th><th>項 目</th><th>日当り施工量</th><th colspan="2">編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="4">再設置工</td><td>新 規 材</td><td>0.82 (t / 日)</td><td>構りよう世話役</td><td>1</td><td rowspan="4">4</td></tr><tr><td>再 利 用 材</td><td>0.77 (t / 日)</td><td rowspan="2">構りよう特殊工</td><td rowspan="2">4</td></tr><tr><td>F R P 検 査 路</td><td>3.6 (部材 / 日)</td></tr><tr><td>ア ル ミ 検 査 路</td><td>12 (m / 日)</td><td>普 通 作 業 員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4－22－3 部材再設置工歩掛 (注) 1. クレーン賃料及び高所作業車、架設工具機料、移動発電機賃料等を別途計上する。 2. FRP 検査路部材長は平均4.0mから6.0mとし、手摺材・床材を組立てた形状を標準とする。 3. 諸雑費は組立用雑材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 検査路支持金具 (ブラケット) も再設置する場合は撤去数量 (質量) に含めて計上する。 5. 部材再設置時に桁本体にボルト孔明を実施する場合は、表8－3芯出し調整工、表2－10鋼桁孔明工歩掛を標準とする。 6. アルミ検査路は歩幅部と昇降はしこの延長とする。 7. アルミ検査路を設置する場合、吊足場上への荷役機械として、25 t 吊りラフテレンクレーンを計上する。 8. アンカーの穿孔及び取付は別途計上する。	種 別	項 目	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	撤去工	廃 棄	1.30 (t / 日)	構りよう世話役	1	4	再 利 用	0.98 (t / 日)	構りよう特殊工	4	普 通 作 業 員	1	種 別	項 目	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	再設置工	新 規 材	0.82 (t / 日)	構りよう世話役	1	4	再 利 用 材	0.77 (t / 日)	構りよう特殊工	4	F R P 検 査 路	3.6 (部材 / 日)	ア ル ミ 検 査 路	12 (m / 日)	普 通 作 業 員	1
種 別	項 目	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																																														
撤去工	廃 棄	1.30 (t / 日)	構りよう世話役	1	4																																																																														
	再 利 用	0.98 (t / 日)	構りよう特殊工	4																																																																															
			普 通 作 業 員	1																																																																															
種 別	項 目	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																																														
再設置工	新 規 材	0.82 (t / 日)	構りよう世話役	1	4																																																																														
	再 利 用 材	0.77 (t / 日)	構りよう特殊工	4																																																																															
	F R P 検 査 路	3.6 (部材 / 日)																																																																																	
	ア ル ミ 検 査 路	12 (m / 日)	普 通 作 業 員	1																																																																															
種 別	項 目	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																																														
撤去工	廃 棄	1.30 (t / 日)	構りよう世話役	1	4																																																																														
	再 利 用	0.98 (t / 日)	構りよう特殊工	4																																																																															
			普 通 作 業 員	1																																																																															
種 別	項 目	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																																														
再設置工	新 規 材	0.82 (t / 日)	構りよう世話役	1	4																																																																														
	再 利 用 材	0.77 (t / 日)	構りよう特殊工	4																																																																															
	F R P 検 査 路	3.6 (部材 / 日)																																																																																	
	ア ル ミ 検 査 路	12 (m / 日)	普 通 作 業 員	1																																																																															

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																			
379	第7章⑦ 部材取付工 (架設工)	部材取付工 (架設工) 379 ⑦ 部材取付工 (架設工) ⑦-1 補強部材取付工(撤去工)(ボルトによる補強部材)200kg 以下 補強部材取付工200kg 以下の歩掛は、次表を標準とする。 表7-1 補強部材取付工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">$4 \times \alpha$ (部材 / 日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>3</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-7-6 補強部材取付工歩掛 参照 (注) 1. 本歩掛に含まれる作業は、補剛材、ガセットプレート等の人力による作業であり、ラフデレックレーンを使用する場合は別途計上する。 2. 上表には、ボルトの締付工、仮置場からの小運搬は含まない。 3. 取付部材の製作及び材料費は、別途計上するものとする。 4. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具、消耗材料等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. α : 1 部材当り平均質量による補正係数 付表-1 1 部材当り平均質量による補正係数 (α) <table><tr><th>1 部材当り平均質量 G (kg)</th><th>α</th></tr><tr><td>$G \leq 20$</td><td>4</td></tr><tr><td>$20 < G \leq 40$</td><td>3</td></tr><tr><td>$40 < G \leq 100$</td><td>2</td></tr><tr><td>$100 < G \leq 200$</td><td>1</td></tr></table> ⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg 以上 荷卸し～横取り～仮置工200kg 以上の歩掛は、次表を標準とする。 表7-2 補強部材 荷卸し～横取り～仮置工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>労務編成 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">$6 \times \alpha \times \beta$ (部材 / 日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>0.3</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>2.0</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>0.3</td></tr></table> (注) 1. クレーンの賃料は、別途計上する。 2. 諸雑費は、発動発電機の賃料及び燃料、油類、架設工具損料及び横取設備損料等であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. α : 1 部材平均質量による係数 (付表-1) β : 荷卸し高さによる係数 (付表-2) 付表-1 1 部材当り平均質量による補正係数 (α) <table><tr><th>1 部材当り平均質量 G (kg)</th><th>α</th></tr><tr><td>$200 < G \leq 500$</td><td>2</td></tr><tr><td>$500 < G \leq 1000$</td><td>1</td></tr><tr><td>$1000 < G \leq 1500$</td><td>0.9</td></tr><tr><td>$1500 < G \leq 2500$</td><td>0.8</td></tr><tr><td>$2500 < G \leq 5000$</td><td>0.7</td></tr></table> 付表-2 荷卸し高さによる係数 (β) <table><tr><th>高さ h (m)</th><th>β</th></tr><tr><td>$0 \leq h \leq 15$</td><td>1.00</td></tr><tr><td>$15 < h \leq 20$</td><td>0.85</td></tr><tr><td>$20 < h$</td><td>0.75</td></tr></table> ⑦ 部材取付工 (架設工) ⑦-1 補強部材取付工(撤去工)(ボルトによる補強部材)200kg 以下 補強部材取付工200kg 以下の歩掛は、次表を標準とする。 表7-1 補強部材取付工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">$4 \times \alpha$ (部材 / 日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>3</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-7-6 補強部材取付工歩掛 参照 (注) 1. 本歩掛に含まれる作業は、補剛材、ガセットプレート等の人力による作業であり、ラフデレックレーンを使用する場合は別途計上する。 2. 上表には、ボルトの締付 (取外し) 工、仮置場からの小運搬は含まない。 3. 取付部材の製作及び材料費は、別途計上するものとする。 4. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具、消耗材料等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. α : 1 部材当り平均質量による補正係数 付表-1 1 部材当り平均質量による補正係数 (α) <table><tr><th>1 部材当り平均質量 G (kg)</th><th>α</th></tr><tr><td>$G \leq 20$</td><td>4</td></tr><tr><td>$20 < G \leq 40$</td><td>3</td></tr><tr><td>$40 < G \leq 100$</td><td>2</td></tr><tr><td>$100 < G \leq 200$</td><td>1</td></tr></table> ⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg 以上 荷卸し～横取り～仮置工200kg 以上の歩掛は、次表を標準とする。 表7-2 補強部材 荷卸し～横取り～仮置工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>労務編成 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">$6 \times \alpha \times \beta$ (部材 / 日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>0.3</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>2.0</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>0.3</td></tr></table> (注) 1. クレーンの賃料は、別途計上する。 2. 諸雑費は、発動発電機の賃料及び燃料、油類、架設工具損料及び横取設備損料等であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. α : 1 部材平均質量による係数 (付表-1) β : 荷卸し高さによる係数 (付表-2) 付表-1 1 部材当り平均質量による補正係数 (α) <table><tr><th>1 部材当り平均質量 G (kg)</th><th>α</th></tr><tr><td>$200 < G \leq 500$</td><td>2</td></tr><tr><td>$500 < G \leq 1000$</td><td>1</td></tr><tr><td>$1000 < G \leq 1500$</td><td>0.9</td></tr><tr><td>$1500 < G \leq 2500$</td><td>0.8</td></tr><tr><td>$2500 < G \leq 5000$</td><td>0.7</td></tr></table> 付表-2 荷卸し高さによる係数 (β) <table><tr><th>高さ h (m)</th><th>β</th></tr><tr><td>$0 \leq h \leq 15$</td><td>1.00</td></tr><tr><td>$15 < h \leq 20$</td><td>0.85</td></tr><tr><td>$20 < h$</td><td>0.75</td></tr></table>	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	$4 \times \alpha$ (部材 / 日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普 通 作 業 員	1	1 部材当り平均質量 G (kg)	α	$G \leq 20$	4	$20 < G \leq 40$	3	$40 < G \leq 100$	2	$100 < G \leq 200$	1	日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)	$6 \times \alpha \times \beta$ (部材 / 日)	橋りょう世話役	0.3	橋りょう特殊工	2.0	普 通 作 業 員	0.3	1 部材当り平均質量 G (kg)	α	$200 < G \leq 500$	2	$500 < G \leq 1000$	1	$1000 < G \leq 1500$	0.9	$1500 < G \leq 2500$	0.8	$2500 < G \leq 5000$	0.7	高さ h (m)	β	$0 \leq h \leq 15$	1.00	$15 < h \leq 20$	0.85	$20 < h$	0.75	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	$4 \times \alpha$ (部材 / 日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普 通 作 業 員	1	1 部材当り平均質量 G (kg)	α	$G \leq 20$	4	$20 < G \leq 40$	3	$40 < G \leq 100$	2	$100 < G \leq 200$	1	日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)	$6 \times \alpha \times \beta$ (部材 / 日)	橋りょう世話役	0.3	橋りょう特殊工	2.0	普 通 作 業 員	0.3	1 部材当り平均質量 G (kg)	α	$200 < G \leq 500$	2	$500 < G \leq 1000$	1	$1000 < G \leq 1500$	0.9	$1500 < G \leq 2500$	0.8	$2500 < G \leq 5000$	0.7	高さ h (m)	β	$0 \leq h \leq 15$	1.00	$15 < h \leq 20$	0.85	$20 < h$	0.75
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																																				
$4 \times \alpha$ (部材 / 日)	橋りょう世話役	1																																																																																																				
	橋りょう特殊工	3																																																																																																				
	普 通 作 業 員	1																																																																																																				
1 部材当り平均質量 G (kg)	α																																																																																																					
$G \leq 20$	4																																																																																																					
$20 < G \leq 40$	3																																																																																																					
$40 < G \leq 100$	2																																																																																																					
$100 < G \leq 200$	1																																																																																																					
日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																																				
$6 \times \alpha \times \beta$ (部材 / 日)	橋りょう世話役	0.3																																																																																																				
	橋りょう特殊工	2.0																																																																																																				
	普 通 作 業 員	0.3																																																																																																				
1 部材当り平均質量 G (kg)	α																																																																																																					
$200 < G \leq 500$	2																																																																																																					
$500 < G \leq 1000$	1																																																																																																					
$1000 < G \leq 1500$	0.9																																																																																																					
$1500 < G \leq 2500$	0.8																																																																																																					
$2500 < G \leq 5000$	0.7																																																																																																					
高さ h (m)	β																																																																																																					
$0 \leq h \leq 15$	1.00																																																																																																					
$15 < h \leq 20$	0.85																																																																																																					
$20 < h$	0.75																																																																																																					
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																																				
$4 \times \alpha$ (部材 / 日)	橋りょう世話役	1																																																																																																				
	橋りょう特殊工	3																																																																																																				
	普 通 作 業 員	1																																																																																																				
1 部材当り平均質量 G (kg)	α																																																																																																					
$G \leq 20$	4																																																																																																					
$20 < G \leq 40$	3																																																																																																					
$40 < G \leq 100$	2																																																																																																					
$100 < G \leq 200$	1																																																																																																					
日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																																				
$6 \times \alpha \times \beta$ (部材 / 日)	橋りょう世話役	0.3																																																																																																				
	橋りょう特殊工	2.0																																																																																																				
	普 通 作 業 員	0.3																																																																																																				
1 部材当り平均質量 G (kg)	α																																																																																																					
$200 < G \leq 500$	2																																																																																																					
$500 < G \leq 1000$	1																																																																																																					
$1000 < G \leq 1500$	0.9																																																																																																					
$1500 < G \leq 2500$	0.8																																																																																																					
$2500 < G \leq 5000$	0.7																																																																																																					
高さ h (m)	β																																																																																																					
$0 \leq h \leq 15$	1.00																																																																																																					
$15 < h \leq 20$	0.85																																																																																																					
$20 < h$	0.75																																																																																																					

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																		
380	第 7 章⑦ 部材取付工 (架設工)	380 第 7 章 歩掛編 ⑦－3 部材取付工（撤去工）200kg 以上 部材取付工200kg 以上の歩掛は、次表を標準とする。 表 7－3 部材取付工（撤去工）歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員（人）</th><th>諸雑費率（％）</th></tr><tr><td rowspan="3">4.0×<i>a</i>（部材／日）</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>6</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>22</td></tr></table> (注) 1. 諸雑費は、発動発電機・賃料・燃料、架設工具損料及び酸素・アセチレンガス等消耗材であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. <i>a</i>：1 部材平均質量による係数（付表－1） 付表－1 1 部材当り平均質量による補正係数（<i>α</i>） <table><tr><th>1 部材当り平均質量 G (kg)</th><th><i>a</i></th></tr><tr><td>200< G ≤500</td><td>1.00</td></tr><tr><td>500< G ≤1000</td><td>0.90</td></tr><tr><td>1000< G ≤1500</td><td>0.80</td></tr><tr><td>1500< G ≤2500</td><td>0.70</td></tr><tr><td>2500< G ≤5000</td><td>0.60</td></tr></table> ⑦－4 増設部材架設工（増設横縦桁等取付撤去工） 増設部材架設工の歩掛は、次表を標準とする。 表 7－4 増設部材架設工（増設横縦桁等取付撤去工）歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>労務編成（人）</th><th>諸雑費率（％）</th></tr><tr><td rowspan="3">1.87×<i>α</i>×<i>β</i>（t／日）</td><td>橋りょう世話役</td><td>1.0</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>4.5</td></tr><tr><td colspan="2">23</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表 4－10－6 増設部材架設工歩掛 参照 (注) 1. 本歩掛には架設に伴う仮橋めを含む。 2. 必要に応じてクレーン賃料は別途計上する。 3. 諸雑費は発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具・チェーンブロック及び消耗材料費であり、労務費の合計金額に表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. <i>α</i>：1 部材質量による係数（付表－1） <i>β</i>：現場環境条件による補正係数（付表－2） 付表－1 1 部材質量による係数（<i>α</i>） <table><tr><th>平均 1 部材質量（t）</th><th><i>α</i></th></tr><tr><td>0.5未満</td><td>0.34</td></tr><tr><td>0.5以上 1.0未満</td><td>0.67</td></tr><tr><td>1.0以上 1.5未満</td><td>1.00</td></tr></table> 付表－2 現場環境条件による補正係数（<i>β</i>） <table><tr><th>現場環境条件</th><th><i>β</i></th></tr><tr><td>一般用地内・河川高水敷部</td><td>1.0</td></tr><tr><td>現道上からの部材荷揚げをする場合</td><td>0.9</td></tr><tr><td>主要道路上・鉄道上</td><td>0.8</td></tr></table> (注) 時間制約がある場合は別途積算する。 付表－3 材料取込、取下ろし・取付・撤去作業別構成比率 <table><tr><th>平均 1 部材質量（t）</th><th>材料取込作業、材料取下ろし作業（％）</th><th>取付作業（％）</th><th>撤去作業（％）</th></tr><tr><td>0.5未満</td><td>60</td><td>40</td><td>24</td></tr><tr><td>0.5以上 1.0未満</td><td>65</td><td>35</td><td>21</td></tr><tr><td>1.0以上 1.5未満</td><td>70</td><td>30</td><td>18</td></tr></table>	日当り施工量	編成人員（人）	諸雑費率（％）	4.0× <i>a</i> （部材／日）	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	6	普通作業員	1			22	1 部材当り平均質量 G (kg)	<i>a</i>	200< G ≤500	1.00	500< G ≤1000	0.90	1000< G ≤1500	0.80	1500< G ≤2500	0.70	2500< G ≤5000	0.60	日当り施工量	労務編成（人）	諸雑費率（％）	1.87× <i>α</i> × <i>β</i> （t／日）	橋りょう世話役	1.0	橋りょう特殊工	4.5	23		平均 1 部材質量（t）	<i>α</i>	0.5未満	0.34	0.5以上 1.0未満	0.67	1.0以上 1.5未満	1.00	現場環境条件	<i>β</i>	一般用地内・河川高水敷部	1.0	現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9	主要道路上・鉄道上	0.8	平均 1 部材質量（t）	材料取込作業、材料取下ろし作業（％）	取付作業（％）	撤去作業（％）	0.5未満	60	40	24	0.5以上 1.0未満	65	35	21	1.0以上 1.5未満	70	30	18	380 第 7 章 歩掛編 ⑦－3 部材取付工（撤去工）200kg 以上 部材取付工200kg 以上の歩掛は、次表を標準とする。 表 7－3 部材取付工（撤去工）歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員（人）</th><th>諸雑費率（％）</th></tr><tr><td rowspan="3">4.0×<i>a</i>（部材／日）</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>6</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>22</td></tr></table> (注) 1. 諸雑費は、発動発電機・賃料・燃料、架設工具損料及び酸素・アセチレンガス等消耗材であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. <i>a</i>：1 部材平均質量による係数（付表－1） 付表－1 1 部材当り平均質量による補正係数（<i>α</i>） <table><tr><th>1 部材当り平均質量 G (kg)</th><th><i>a</i></th></tr><tr><td>200< G ≤500</td><td>1.00</td></tr><tr><td>500< G ≤1000</td><td>0.90</td></tr><tr><td>1000< G ≤1500</td><td>0.80</td></tr><tr><td>1500< G ≤2500</td><td>0.70</td></tr><tr><td>2500< G ≤5000</td><td>0.60</td></tr></table> ⑦－4 増設部材架設工（増設横縦桁等取付撤去工） 増設部材架設工の歩掛は、次表を標準とする。 表 7－4 増設部材架設工（増設横縦桁等取付撤去工）歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>労務編成（人）</th><th>諸雑費率（％）</th></tr><tr><td rowspan="3">1.87×<i>α</i>×<i>β</i>（t／日）</td><td>橋りょう世話役</td><td>1.0</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>4.5</td></tr><tr><td colspan="2">23</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表 4－10－6 増設部材架設工歩掛 参照 (注) 1. 本歩掛には架設に伴う仮橋めを含む。 2. 必要に応じてクレーン賃料は別途計上する。 3. 諸雑費は発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具・チェーンブロック及び消耗材料費であり、労務費の合計金額に表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. <i>α</i>：1 部材質量による係数（付表－1） <i>β</i>：現場環境条件による補正係数（付表－2） 5. 材料取込＋取付＋撤去＋材料取下しが一連の作業であり、上記歩掛で試算すれば（一部材0.5 t 未満、一般用地内とする）、次の通りとなる。 割増し率＝(60％＋40％＋24％＋60％)＝184％ 日当り施工量＝1.87×0.34/1.84×1.0＝0.35（t／日） 付表－1 1 部材質量による係数（<i>α</i>）（材料取込、取下し・取付・撤去作業別構成比率） <table><tr><th>平均 1 部材質量（t）</th><th><i>α</i></th><th>材料取込作業、材料取下ろし作業（％）</th><th>取付作業（％）</th><th>撤去作業（％）</th></tr><tr><td>0.5未満</td><td>0.34</td><td>60</td><td>40</td><td>24</td></tr><tr><td>0.5以上 1.0未満</td><td>0.67</td><td>65</td><td>35</td><td>21</td></tr><tr><td>1.0以上 1.5未満</td><td>1.00</td><td>70</td><td>30</td><td>18</td></tr></table> 付表－2 現場環境条件による補正係数（<i>β</i>） <table><tr><th>現場環境条件</th><th><i>β</i></th></tr><tr><td>一般用地内・河川高水敷部</td><td>1.0</td></tr><tr><td>現道上からの部材荷揚げをする場合</td><td>0.9</td></tr><tr><td>主要道路上・鉄道上</td><td>0.8</td></tr></table> (注) 時間制約がある場合は別途積算する。	日当り施工量	編成人員（人）	諸雑費率（％）	4.0× <i>a</i> （部材／日）	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	6	普通作業員	1			22	1 部材当り平均質量 G (kg)	<i>a</i>	200< G ≤500	1.00	500< G ≤1000	0.90	1000< G ≤1500	0.80	1500< G ≤2500	0.70	2500< G ≤5000	0.60	日当り施工量	労務編成（人）	諸雑費率（％）	1.87× <i>α</i> × <i>β</i> （t／日）	橋りょう世話役	1.0	橋りょう特殊工	4.5	23		平均 1 部材質量（t）	<i>α</i>	材料取込作業、材料取下ろし作業（％）	取付作業（％）	撤去作業（％）	0.5未満	0.34	60	40	24	0.5以上 1.0未満	0.67	65	35	21	1.0以上 1.5未満	1.00	70	30	18	現場環境条件	<i>β</i>	一般用地内・河川高水敷部	1.0	現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9	主要道路上・鉄道上	0.8
日当り施工量	編成人員（人）	諸雑費率（％）																																																																																																																																			
4.0× <i>a</i> （部材／日）	橋りょう世話役	1																																																																																																																																			
	橋りょう特殊工	6																																																																																																																																			
	普通作業員	1																																																																																																																																			
		22																																																																																																																																			
1 部材当り平均質量 G (kg)	<i>a</i>																																																																																																																																				
200< G ≤500	1.00																																																																																																																																				
500< G ≤1000	0.90																																																																																																																																				
1000< G ≤1500	0.80																																																																																																																																				
1500< G ≤2500	0.70																																																																																																																																				
2500< G ≤5000	0.60																																																																																																																																				
日当り施工量	労務編成（人）	諸雑費率（％）																																																																																																																																			
1.87× <i>α</i> × <i>β</i> （t／日）	橋りょう世話役	1.0																																																																																																																																			
	橋りょう特殊工	4.5																																																																																																																																			
	23																																																																																																																																				
平均 1 部材質量（t）	<i>α</i>																																																																																																																																				
0.5未満	0.34																																																																																																																																				
0.5以上 1.0未満	0.67																																																																																																																																				
1.0以上 1.5未満	1.00																																																																																																																																				
現場環境条件	<i>β</i>																																																																																																																																				
一般用地内・河川高水敷部	1.0																																																																																																																																				
現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9																																																																																																																																				
主要道路上・鉄道上	0.8																																																																																																																																				
平均 1 部材質量（t）	材料取込作業、材料取下ろし作業（％）	取付作業（％）	撤去作業（％）																																																																																																																																		
0.5未満	60	40	24																																																																																																																																		
0.5以上 1.0未満	65	35	21																																																																																																																																		
1.0以上 1.5未満	70	30	18																																																																																																																																		
日当り施工量	編成人員（人）	諸雑費率（％）																																																																																																																																			
4.0× <i>a</i> （部材／日）	橋りょう世話役	1																																																																																																																																			
	橋りょう特殊工	6																																																																																																																																			
	普通作業員	1																																																																																																																																			
		22																																																																																																																																			
1 部材当り平均質量 G (kg)	<i>a</i>																																																																																																																																				
200< G ≤500	1.00																																																																																																																																				
500< G ≤1000	0.90																																																																																																																																				
1000< G ≤1500	0.80																																																																																																																																				
1500< G ≤2500	0.70																																																																																																																																				
2500< G ≤5000	0.60																																																																																																																																				
日当り施工量	労務編成（人）	諸雑費率（％）																																																																																																																																			
1.87× <i>α</i> × <i>β</i> （t／日）	橋りょう世話役	1.0																																																																																																																																			
	橋りょう特殊工	4.5																																																																																																																																			
	23																																																																																																																																				
平均 1 部材質量（t）	<i>α</i>	材料取込作業、材料取下ろし作業（％）	取付作業（％）	撤去作業（％）																																																																																																																																	
0.5未満	0.34	60	40	24																																																																																																																																	
0.5以上 1.0未満	0.67	65	35	21																																																																																																																																	
1.0以上 1.5未満	1.00	70	30	18																																																																																																																																	
現場環境条件	<i>β</i>																																																																																																																																				
一般用地内・河川高水敷部	1.0																																																																																																																																				
現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9																																																																																																																																				
主要道路上・鉄道上	0.8																																																																																																																																				

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																					
381	第7章⑦ 部材取付工 (架設工)	部材取付工（架設工） 381 7-5 増設横梁部材架設工 増設横梁部材架設工の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表7-5 増設横梁部材架設工歩掛</caption><tr><th>日当り施工量</th><th>労務編成（人）</th><th>諸雑费率（%）</th></tr><tr><td rowspan="2">1.87×α（t／日）</td><td>橋りょう世話役</td><td>1.0</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>7.7</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-10-7 増設横梁部材架設工歩掛 参照 (注) 1. 設計対象数量は、各橋脚毎とする。 2. 本歩掛には架設に伴う仮締めを含む。 3. 必要に応じてクレーン賃料は別途計上する。 4. 諸雑費は発動発電機の賃料、燃料・油価類、架設工具、チェーンブロック及び消耗材料費であり、労務費の合計金額に表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. α：現場環境条件による補正係数（付表-1） <table><caption>付表-1 現場環境条件による補正係数（α）</caption><tr><th>現場環境条件</th><th>α</th></tr><tr><td>一般用地内・河川高水敷部</td><td>1.0</td></tr><tr><td>現道上からの部材荷揚げをする場合</td><td>0.9</td></tr><tr><td>主要道路上・鉄道上</td><td>0.8</td></tr></table> (注) 時間制約がある場合は別途積算する。 7-6 主桁連結部材取付工 主桁連結部材取付工の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表7-6 主桁連結部材取付工歩掛</caption><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員（人）</th><th>諸雑费率（%）</th></tr><tr><td rowspan="3">1.4（t／日）</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>4</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>2</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-8-3 主桁連結部材取付工歩掛 参照 (注) 1. 施工量は、連結部材・補強部材の質量とする。 2. 本歩掛には、連結部材取付け・仮締を含む。 3. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油価類、架設工具、組立用消耗材料であり、労務費の合計額に上記表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7-7 既設部材撤去工 既設部材撤去工の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表7-7 既設部材撤去工歩掛</caption><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>橋りょう世話役</td><td></td><td>人</td><td>2.3</td><td></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td></td><td>〃</td><td>6.1</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td>1.8</td><td></td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>4</td><td></td></tr></table> 土木工事標準積算基準書 IV-3-⑨ 表4.2 既設部材撤去歩掛 参照 橋梁架設工事の積算 表4-13-3 既設部材撤去歩掛 参照 (注) 諸雑費は、材料（アセチレンガス、酸素）及び機械器具費（ガス切断機）等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7-5 増設横梁部材架設工 増設横梁部材架設工の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表7-5 増設横梁部材架設工歩掛</caption><tr><th>日当り施工量</th><th>労務編成（人）</th><th>諸雑费率（%）</th></tr><tr><td rowspan="2">1.87×α（t／日）</td><td>橋りょう世話役</td><td>1.0</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>7.7</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-10-7 増設横梁部材架設工歩掛 参照 (注) 1. 積算対象数量は、各橋脚毎とする。 2. 本歩掛には架設に伴う仮締めを含む。 3. 必要に応じてクレーン賃料は別途計上する。 4. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油価類、架設工具、チェーンブロック及び消耗材料費であり、労務費の合計金額に表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. α：現場環境条件による補正係数（付表-1） <table><caption>付表-1 現場環境条件による補正係数（α）</caption><tr><th>現場環境条件</th><th>α</th></tr><tr><td>一般用地内・河川高水敷部</td><td>1.0</td></tr><tr><td>現道上からの部材荷揚げをする場合</td><td>0.9</td></tr><tr><td>主要道路上・鉄道上</td><td>0.8</td></tr></table> (注) 時間制約がある場合は別途積算する。 7-6 主桁連結部材取付工 主桁連結部材取付工の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表7-6 主桁連結部材取付工歩掛</caption><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員（人）</th><th>諸雑费率（%）</th></tr><tr><td rowspan="3">1.4（t／日）</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>4</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>2</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-8-3 主桁連結部材取付工歩掛 参照 (注) 1. 施工量は、連結部材・補強部材の質量とする。 2. 本歩掛には、連結部材取付け・仮締を含む。 3. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油価類、架設工具、組立用消耗材料であり、労務費の合計額に上記表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 荷高等にクレーンを使用する場合は、別途計上する。 7-7 既設部材撤去工 既設部材撤去工の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表7-7 既設部材撤去工歩掛</caption><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>橋りょう世話役</td><td></td><td>人</td><td>2.3</td><td></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td></td><td>〃</td><td>6.1</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td>1.8</td><td></td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>4</td><td></td></tr></table> 土木工事標準積算基準書 IV-3-⑨ 表4.2 既設部材撤去歩掛 参照 橋梁架設工事の積算 表4-13-3 既設部材撤去歩掛 参照 (注) 諸雑費は、材料（アセチレンガス、酸素）及び機械器具費（ガス切断機）等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。	日当り施工量	労務編成（人）	諸雑费率（%）	1.87×α（t／日）	橋りょう世話役	1.0	橋りょう特殊工	7.7	現場環境条件	α	一般用地内・河川高水敷部	1.0	現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9	主要道路上・鉄道上	0.8	日当り施工量	編成人員（人）	諸雑费率（%）	1.4（t／日）	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	4	普通作業員	2	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人	2.3		橋りょう特殊工		〃	6.1		普通作業員		〃	1.8		諸 雑 費 率		%	4		日当り施工量	労務編成（人）	諸雑费率（%）	1.87×α（t／日）	橋りょう世話役	1.0	橋りょう特殊工	7.7	現場環境条件	α	一般用地内・河川高水敷部	1.0	現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9	主要道路上・鉄道上	0.8	日当り施工量	編成人員（人）	諸雑费率（%）	1.4（t／日）	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	4	普通作業員	2	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人	2.3		橋りょう特殊工		〃	6.1		普通作業員		〃	1.8		諸 雑 費 率		%	4	
日当り施工量	労務編成（人）	諸雑费率（%）																																																																																																						
1.87×α（t／日）	橋りょう世話役	1.0																																																																																																						
	橋りょう特殊工	7.7																																																																																																						
現場環境条件	α																																																																																																							
一般用地内・河川高水敷部	1.0																																																																																																							
現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9																																																																																																							
主要道路上・鉄道上	0.8																																																																																																							
日当り施工量	編成人員（人）	諸雑费率（%）																																																																																																						
1.4（t／日）	橋りょう世話役	1																																																																																																						
	橋りょう特殊工	4																																																																																																						
	普通作業員	2																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																				
橋りょう世話役		人	2.3																																																																																																					
橋りょう特殊工		〃	6.1																																																																																																					
普通作業員		〃	1.8																																																																																																					
諸 雑 費 率		%	4																																																																																																					
日当り施工量	労務編成（人）	諸雑费率（%）																																																																																																						
1.87×α（t／日）	橋りょう世話役	1.0																																																																																																						
	橋りょう特殊工	7.7																																																																																																						
現場環境条件	α																																																																																																							
一般用地内・河川高水敷部	1.0																																																																																																							
現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9																																																																																																							
主要道路上・鉄道上	0.8																																																																																																							
日当り施工量	編成人員（人）	諸雑费率（%）																																																																																																						
1.4（t／日）	橋りょう世話役	1																																																																																																						
	橋りょう特殊工	4																																																																																																						
	普通作業員	2																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																				
橋りょう世話役		人	2.3																																																																																																					
橋りょう特殊工		〃	6.1																																																																																																					
普通作業員		〃	1.8																																																																																																					
諸 雑 費 率		%	4																																																																																																					

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																																																																		
384	第7章⑦ 部材取付工 (架設工)	384 第7章 歩掛編 表7-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工歩掛 <table><tr><th>タイプ</th><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th><th>概略図</th></tr><tr><td rowspan="3">①</td><td rowspan="3">3×α基/日 〔アンカーボルトは除く〕 (2×α基/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">②</td><td rowspan="3">4×α組/日 (ピン取付含む) (3×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">③</td><td rowspan="3">4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 7</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">④-1</td><td rowspan="3">4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 7</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">④-2</td><td rowspan="3">4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 7</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">④-3</td><td rowspan="3">2.2×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (1.5×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 7</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑤</td><td rowspan="3">4×α基/日 (3×α基/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑥-1</td><td rowspan="3">2×α基/日 (1.5×α基/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑥-2</td><td rowspan="3">2×α基/日 (1.5×α基/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑦</td><td rowspan="3">4×α組/日 (3×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑧-1</td><td rowspan="3">2×α組/日 〔アンカーバー取付含む〕 (1.5×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑧-2</td><td rowspan="3">4×α基/日 〔アンカーバー取付含まず〕 (3×α基/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-7-7 タイプ別一覧表 参照 (注) 1. () 内施工数量は、単部材質量が600kgを超す場合に適用する。2000kgを超えるものは別途積算とする。 2. 上表には、荷重場所からの小運搬を含むものとする。 3. 単部材質量が600kgを超す場合には、ラフテレーンクレーンを使用するものとし、別途計上する。 但し、600kg以下の部材においてもラフテレーンクレーンが必要な場合には、別途計上する。 4. 部材の製作及び材料費は、別途計上する。 5. アンカーボルト定着後の引張及び定着後測定等の試験費については別途計上する。 6. 取付箇所において図7-1のような複数のタイプを兼用する構造については、別途積算とする。 7. 諸雑費は、発動発電機の燃料・油類類、組立工具、吊上げ設備、クレーン付トラック運搬工及び部材取付用消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 8. 現場環境条件により、部材取付工の日当り施工量を、下表の係数を乗じ補正する。 付表-1 現場環境条件による補正係数 (α) <table><tr><th>現場環境条件</th><th>α</th></tr><tr><td>一般用地内・河川高水敷部</td><td>1.0</td></tr><tr><td>現道上からの部材荷揚げをする場合</td><td>0.9</td></tr><tr><td>主要道路上・鉄道上</td><td>0.8</td></tr></table> (注) 時間制約がある場合は別途積算する。 図7-1 複数のタイプを兼用する構造例	タイプ	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	概略図	①	3×α基/日 〔アンカーボルトは除く〕 (2×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	②	4×α組/日 (ピン取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	③	4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-1	4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-2	4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-3	2.2×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	⑤	4×α基/日 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑥-1	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑥-2	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑦	4×α組/日 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑧-1	2×α組/日 〔アンカーバー取付含む〕 (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑧-2	4×α基/日 〔アンカーバー取付含まず〕 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	現場環境条件	α	一般用地内・河川高水敷部	1.0	現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9	主要道路上・鉄道上	0.8	384 第7章 歩掛編 表7-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工歩掛 <table><tr><th>タイプ</th><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸雑費率 (%)</th><th>概略図</th></tr><tr><td rowspan="3">①</td><td rowspan="3">3×α基/日 〔アンカーボルトは除く〕 (2×α基/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">②</td><td rowspan="3">4×α組/日 (ピン取付含む) (3×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">③</td><td rowspan="3">4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 7</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">④-1</td><td rowspan="3">4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 7</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">④-2</td><td rowspan="3">4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 7</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">④-3</td><td rowspan="3">2.2×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (1.5×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 7</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑤</td><td rowspan="3">4×α基/日 (3×α基/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑥-1</td><td rowspan="3">2×α基/日 (1.5×α基/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑥-2</td><td rowspan="3">2×α基/日 (1.5×α基/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑦</td><td rowspan="3">4×α組/日 (3×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑧-1</td><td rowspan="3">2×α組/日 〔アンカーバー取付含む〕 (1.5×α組/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr><tr><td rowspan="3">⑧-2</td><td rowspan="3">4×α基/日 〔アンカーバー取付含まず〕 (3×α基/日)</td><td>橋りょう世話役 1</td><td rowspan="3">32</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>橋りょう特殊工 4</td></tr><tr><td>普通作業員 2</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-7-7 タイプ別一覧表 参照 (注) 1. () 内施工数量は、単部材質量が600kgを超す場合に適用する。2000kgを超えるものは別途積算とする。 2. 上表には、荷重場所からの小運搬を含むものとする。 3. 単部材質量が600kgを超す場合には、ラフテレーンクレーンを使用するものとし、別途計上する。 但し、600kg以下の部材においてもラフテレーンクレーンが必要な場合には、別途計上する。 4. 部材の製作及び材料費は、別途計上する。 5. アンカーボルト定着後の引張及び定着後測定等の試験費については別途計上する。 6. PC構において吊上げ設備等設置のためのアンカーボルト穿孔及び定着が必要な場合は、別途計上する。 7. 取付箇所において図7-1のような複数のタイプを兼用する構造については、別途積算とする。 8. 諸雑費は、発動発電機の燃料・油類類、組立工具、吊上げ設備、クレーン付トラック運搬工及び部材取付用消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 9. 現場環境条件により、部材取付工の日当り施工量を、付表-1の係数を乗じ補正する。 付表-1 現場環境条件による補正係数 (α) <table><tr><th>現場環境条件</th><th>α</th></tr><tr><td>一般用地内・河川高水敷部</td><td>1.0</td></tr><tr><td>現道上からの部材荷揚げをする場合</td><td>0.9</td></tr><tr><td>主要道路上・鉄道上</td><td>0.8</td></tr></table> (注) 時間制約がある場合は別途積算する。 図7-1 複数のタイプを兼用する構造例	タイプ	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	概略図	①	3×α基/日 〔アンカーボルトは除く〕 (2×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	②	4×α組/日 (ピン取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	③	4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-1	4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-2	4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-3	2.2×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	⑤	4×α基/日 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑥-1	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑥-2	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑦	4×α組/日 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑧-1	2×α組/日 〔アンカーバー取付含む〕 (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑧-2	4×α基/日 〔アンカーバー取付含まず〕 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	現場環境条件	α	一般用地内・河川高水敷部	1.0	現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9	主要道路上・鉄道上	0.8
タイプ	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	概略図																																																																																																																																																																																																	
①	3×α基/日 〔アンカーボルトは除く〕 (2×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
②	4×α組/日 (ピン取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
③	4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-1	4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-2	4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-3	2.2×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑤	4×α基/日 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑥-1	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑥-2	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑦	4×α組/日 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑧-1	2×α組/日 〔アンカーバー取付含む〕 (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑧-2	4×α基/日 〔アンカーバー取付含まず〕 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
現場環境条件	α																																																																																																																																																																																																				
一般用地内・河川高水敷部	1.0																																																																																																																																																																																																				
現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9																																																																																																																																																																																																				
主要道路上・鉄道上	0.8																																																																																																																																																																																																				
タイプ	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	概略図																																																																																																																																																																																																	
①	3×α基/日 〔アンカーボルトは除く〕 (2×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
②	4×α組/日 (ピン取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
③	4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-1	4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-2	4×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-3	2.2×α組/日 〔アンカーボルトは除く〕 (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑤	4×α基/日 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑥-1	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑥-2	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑦	4×α組/日 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑧-1	2×α組/日 〔アンカーバー取付含む〕 (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑧-2	4×α基/日 〔アンカーバー取付含まず〕 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
現場環境条件	α																																																																																																																																																																																																				
一般用地内・河川高水敷部	1.0																																																																																																																																																																																																				
現道上からの部材荷揚げをする場合	0.9																																																																																																																																																																																																				
主要道路上・鉄道上	0.8																																																																																																																																																																																																				

頁	項目	改定前	改定後																																								
386	第7章⑦ 部材取付工 (架設工)	386 第7章 歩掛編 ⑦-10 座屈拘束ブレース設置工 座屈拘束ブレース設置工の歩掛は、次表を標準とする。 表7-10 座屈拘束ブレース設置工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸経費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">1.2 (本 / 日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>5</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-17-1 座屈拘束ブレース設置歩掛 参照 (注) 1. 製品、材料費は別途計上する。 2. ラフテレーンクレーン等を使用する場合には、別途計上する。 3. 工法特許が発生する場合は特許料を別途計上する。 4. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具損料及び架設設備損料等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 ⑦-11 既設横構撤去・取付工 既設横構撤去・取付工の歩掛は、次表を標準とする。 表7-11 既設横構撤去・取付工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸経費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">2 (部材 / 日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>3</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-8-2 既設横構撤去・取付工歩掛 参照 (注) 1. 主桁連結工法で支障となる既設横構の配置例を下図に示す。 2. 復旧材は既設部材を使用する。ただし、改造する場合は、材料費及び加工費を別途計上する。 3. 必要によりクレーン付トラックを計上する。 4. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具、工具消耗材等の費用であり、労務費の合計額に上記表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 既設横構の撤去・取付は、ガセットプレートと横構の高力ボルトの取り外し、新規高力ボルトの締付けによる。既設主桁に溶接で接合されているガセットプレート等の撤去は含まない。	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	1.2 (本 / 日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	5	普通作業員	1	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	2 (部材 / 日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	386 第7章 歩掛編 ⑦-10 座屈拘束ブレース設置工 座屈拘束ブレース設置工の歩掛は、次表を標準とする。 表7-10 座屈拘束ブレース設置工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸経費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">1.2 (本 / 日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>5</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-17-1 座屈拘束ブレース設置歩掛 参照 (注) 1. 製品、材料費は別途計上する。 2. ラフテレーンクレーン等を使用する場合には、別途計上する。 3. 工法特許が発生する場合は特許料を別途計上する。 4. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具損料及び架設設備損料等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 ⑦-11 既設横構撤去・取付工 既設横構撤去・取付工の歩掛は、次表を標準とする。 表7-11 既設横構撤去・取付工歩掛 <table><tr><th>日当り施工量</th><th>編成人員 (人)</th><th>諸経費率 (%)</th></tr><tr><td rowspan="3">2 (部材 / 日)</td><td>橋りょう世話役</td><td>1</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>3</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>1</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-8-2 既設横構撤去・取付工歩掛 参照 (注) 1. 主桁連結工法で支障となる既設横構の配置例を下図に示す。 2. 復旧材は既設部材を使用する。ただし、改造する場合は、材料費及び加工費を別途計上する。 3. 必要によりクレーン付トラック等を計上する。 4. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具、工具消耗材等の費用であり、労務費の合計額に上記表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 既設横構の撤去・取付は、ガセットプレートと横構の高力ボルトの取り外し、新規高力ボルトの締付けによる。既設主桁に溶接で接合されているガセットプレート等の撤去は含まない。	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	1.2 (本 / 日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	5	普通作業員	1	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	2 (部材 / 日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																									
1.2 (本 / 日)	橋りょう世話役	1																																									
	橋りょう特殊工	5																																									
	普通作業員	1																																									
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																									
2 (部材 / 日)	橋りょう世話役	1																																									
	橋りょう特殊工	3																																									
	普通作業員	1																																									
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																									
1.2 (本 / 日)	橋りょう世話役	1																																									
	橋りょう特殊工	5																																									
	普通作業員	1																																									
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																									
2 (部材 / 日)	橋りょう世話役	1																																									
	橋りょう特殊工	3																																									
	普通作業員	1																																									

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																				
393	第7章⑨ コンクリート アンカー工	コンクリートアンカー工 393 ⑨-1 コンクリート削孔工（電動式コアボーリングマシン） 1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 IV-3-⑬落橋防止装置工 4-1 コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン） 参照 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表 9-1 コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン） 積算条件区分一覧 （積算単位：孔）<table><tr><th>アンカー材径</th><th>削孔深さ</th></tr><tr><td rowspan="2">17mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="2">17mm を超え23mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="2">23mm を超え30mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">30mm を超え43mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td>1,000mm を超え1,300mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">43mm を超え54mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td>1,000mm を超え1,300mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">54mm を超え67mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td>1,000mm を超え1,300mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">67mm を超え80mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td>1,000mm を超え1,300mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">80mm を超え100mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td>1,000mm を超え1,300mm 以下</td></tr></table> (注) 1. 上表は、落橋防止装置工におけるコンクリート穿孔機（電動式コアボーリングマシン）によるコンクリート削孔の他、削孔機損料、工事用水中モータポンプ損料、コンクリート穿孔機（電動式コアボーリングマシン）固定用アンカー打込みに必要な費用及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。 3. コンクリート穿孔機（電動式コアボーリングマシン）の施工に伴う泥水処理（産業廃棄物の運搬、処理費）が必要な場合は、別途計上する。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。 5. アンカー材径に適用する削孔径と使用ビット径は付表-1を標準とする。 6. 橋脚の主鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。 7. 不達孔の補修費用は「⑨-5 充填補修工」で別途計上する。 付表-1 アンカー材径と適用削孔径及び使用ビット径<table><tr><td>アンカー材径（mm）</td><td>17以下</td><td>17を超え23以下</td><td>23を超え30以下</td><td>30を超え43以下</td><td>43を超え54以下</td><td>54を超え67以下</td><td>67を超え80以下</td><td>80を超え100以下</td></tr><tr><td>適用削孔径（mm）</td><td>27以下</td><td>27を超え33以下</td><td>33を超え40以下</td><td>40を超え53以下</td><td>53を超え64以下</td><td>64を超え77以下</td><td>77を超え90以下</td><td>90を超え110以下</td></tr><tr><td>使用ビット径（mm）</td><td>27.6</td><td>33.1</td><td>40.0</td><td>53.1</td><td>64.7</td><td>77.4</td><td>90.8</td><td>110.0</td></tr></table> (注) 削孔径はアンカー材径+10mm 以上を確保出来るビット径とする。	アンカー材径	削孔深さ	17mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	17mm を超え23mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	23mm を超え30mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	30mm を超え43mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	1,000mm を超え1,300mm 以下	43mm を超え54mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	1,000mm を超え1,300mm 以下	54mm を超え67mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	1,000mm を超え1,300mm 以下	67mm を超え80mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	1,000mm を超え1,300mm 以下	80mm を超え100mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	1,000mm を超え1,300mm 以下	アンカー材径（mm）	17以下	17を超え23以下	23を超え30以下	30を超え43以下	43を超え54以下	54を超え67以下	67を超え80以下	80を超え100以下	適用削孔径（mm）	27以下	27を超え33以下	33を超え40以下	40を超え53以下	53を超え64以下	64を超え77以下	77を超え90以下	90を超え110以下	使用ビット径（mm）	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110.0	⑨ コンクリートアンカー工 393 ⑨-1 コンクリート削孔工（電動式コアボーリングマシン） 1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 IV-3-⑬落橋防止装置工 4-1 コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン） 参照 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表 9-1 コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン） 積算条件区分一覧 （積算単位：孔）<table><tr><th>アンカー材径</th><th>削孔深さ</th></tr><tr><td rowspan="2">17mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="2">17mm を超え23mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="2">23mm を超え30mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">30mm を超え43mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td>1,000mm を超え1,300mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">43mm を超え54mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td>1,000mm を超え1,300mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">54mm を超え67mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td>1,000mm を超え1,300mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">67mm を超え80mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td>1,000mm を超え1,300mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">80mm を超え100mm 以下</td><td>500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm を超え1,000mm 以下</td></tr><tr><td>1,000mm を超え1,300mm 以下</td></tr></table> (注) 1. 上表は、落橋防止装置工におけるコンクリート穿孔機（電動式コアボーリングマシン）によるコンクリート削孔の他、穿孔機損料、工事用水中モータポンプ損料、コンクリート穿孔機（電動式コアボーリングマシン）固定用アンカー打込みに必要な費用及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。 3. コンクリート穿孔機（電動式コアボーリングマシン）の施工に伴う泥水処理（産業廃棄物の運搬、処理費）が必要な場合は、別途計上する。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。 5. アンカー材径に適用する削孔径と使用ビット径は付表-1を標準とする。 6. 橋脚の主鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。 7. 不達孔の補修費用は「⑨-5 充填補修工」で別途計上する。 付表-1 アンカー材径と適用削孔径及び使用ビット径<table><tr><td>アンカー材径（mm）</td><td>17以下</td><td>17を超え23以下</td><td>23を超え30以下</td><td>30を超え43以下</td><td>43を超え54以下</td><td>54を超え67以下</td><td>67を超え80以下</td><td>80を超え100以下</td></tr><tr><td>適用削孔径（mm）</td><td>27以下</td><td>27を超え33以下</td><td>33を超え40以下</td><td>40を超え53以下</td><td>53を超え64以下</td><td>64を超え77以下</td><td>77を超え90以下</td><td>90を超え110以下</td></tr><tr><td>使用ビット径（mm）</td><td>27.6</td><td>33.1</td><td>40.0</td><td>53.1</td><td>64.7</td><td>77.4</td><td>90.8</td><td>110.0</td></tr></table> (注) 削孔径はアンカー材径+10mm 以上を確保出来るビット径とする。	アンカー材径	削孔深さ	17mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	17mm を超え23mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	23mm を超え30mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	30mm を超え43mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	1,000mm を超え1,300mm 以下	43mm を超え54mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	1,000mm を超え1,300mm 以下	54mm を超え67mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	1,000mm を超え1,300mm 以下	67mm を超え80mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	1,000mm を超え1,300mm 以下	80mm を超え100mm 以下	500mm 以下	500mm を超え1,000mm 以下	1,000mm を超え1,300mm 以下	アンカー材径（mm）	17以下	17を超え23以下	23を超え30以下	30を超え43以下	43を超え54以下	54を超え67以下	67を超え80以下	80を超え100以下	適用削孔径（mm）	27以下	27を超え33以下	33を超え40以下	40を超え53以下	53を超え64以下	64を超え77以下	77を超え90以下	90を超え110以下	使用ビット径（mm）	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110.0
アンカー材径	削孔深さ																																																																																																																						
17mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
17mm を超え23mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
23mm を超え30mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
30mm を超え43mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
	1,000mm を超え1,300mm 以下																																																																																																																						
43mm を超え54mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
	1,000mm を超え1,300mm 以下																																																																																																																						
54mm を超え67mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
	1,000mm を超え1,300mm 以下																																																																																																																						
67mm を超え80mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
	1,000mm を超え1,300mm 以下																																																																																																																						
80mm を超え100mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
	1,000mm を超え1,300mm 以下																																																																																																																						
アンカー材径（mm）	17以下	17を超え23以下	23を超え30以下	30を超え43以下	43を超え54以下	54を超え67以下	67を超え80以下	80を超え100以下																																																																																																															
適用削孔径（mm）	27以下	27を超え33以下	33を超え40以下	40を超え53以下	53を超え64以下	64を超え77以下	77を超え90以下	90を超え110以下																																																																																																															
使用ビット径（mm）	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110.0																																																																																																															
アンカー材径	削孔深さ																																																																																																																						
17mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
17mm を超え23mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
23mm を超え30mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
30mm を超え43mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
	1,000mm を超え1,300mm 以下																																																																																																																						
43mm を超え54mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
	1,000mm を超え1,300mm 以下																																																																																																																						
54mm を超え67mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
	1,000mm を超え1,300mm 以下																																																																																																																						
67mm を超え80mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
	1,000mm を超え1,300mm 以下																																																																																																																						
80mm を超え100mm 以下	500mm 以下																																																																																																																						
	500mm を超え1,000mm 以下																																																																																																																						
	1,000mm を超え1,300mm 以下																																																																																																																						
アンカー材径（mm）	17以下	17を超え23以下	23を超え30以下	30を超え43以下	43を超え54以下	54を超え67以下	67を超え80以下	80を超え100以下																																																																																																															
適用削孔径（mm）	27以下	27を超え33以下	33を超え40以下	40を超え53以下	53を超え64以下	64を超え77以下	77を超え90以下	90を超え110以下																																																																																																															
使用ビット径（mm）	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110.0																																																																																																															

改訂 2 版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2022年 6 月)

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																																																																																																																
409	第7章⑪ 支 取替工 (鋼橋)	支取替工 (鋼橋) 409 2. 施工パッケージ型積算方式適用外 支取替工のうち、3138.1kN (320 t) を超え7845.3kN (800 t) 以下の鋼製支承及び1471.0kN (150 t) を超え7845.3kN (800 t) 以下のゴム支承の支取替に適用する。 表11-9 支取替工歩掛 (鋼橋-鋼製支承) (一基当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="5">Ⅵ</th></tr><tr><th>3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下</th><th>3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下</th><th>4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下</th><th>5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下</th><th>6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下</th></tr><tr><td>橋りょう世話役</td><td>人</td><td>4.5 (4.4)</td><td>5.2 (5.1)</td><td>5.7 (5.5)</td><td>6.3 (6.1)</td><td>6.8 (6.6)</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>人</td><td>13.2 (13.1)</td><td>14.9 (14.8)</td><td>16.7 (16.5)</td><td>18.4 (18.2)</td><td>20.2 (20.0)</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td>人</td><td>6.2 (6.1)</td><td>7.0 (6.9)</td><td>7.8 (7.6)</td><td>8.6 (8.4)</td><td>9.3 (9.1)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>4.3</td><td>4.8</td><td>5.3</td><td>5.9</td><td>6.5</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>%</td><td>36</td><td>37</td><td>38</td><td>38</td><td>38</td></tr></table> ※上記数値は一般的な条件での数値であり、施工条件で数値に大幅な差異が生じる場合がある。現場条件によっては見積徴収が望ましい。 表11-10 支取替工歩掛 (鋼橋-ゴム支承) (一基当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th>Ⅶ</th><th>Ⅷ</th></tr><tr><th>1471.0kN(150 t)を超え 2451.7kN(250 t)以下</th><th>2451.7kN(250 t)を超え 3138.1kN(320 t)以下</th></tr><tr><td>橋りょう世話役</td><td>人</td><td>2.6 (2.5)</td><td>3.0 (2.9)</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>人</td><td>7.7 (7.6)</td><td>9.3 (9.2)</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td>人</td><td>3.7 (3.6)</td><td>4.4 (4.3)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>3.7 (3.7)</td><td>4.4 (4.4)</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>%</td><td>36</td><td>36</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-3-12 支取替工歩掛 参照 表11-11 支取替工歩掛 (鋼橋-ゴム支承) (一基当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="5">Ⅸ</th></tr><tr><th>3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下</th><th>3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下</th><th>4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下</th><th>5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下</th><th>6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下</th></tr><tr><td>橋りょう世話役</td><td>人</td><td>3.4 (3.3)</td><td>3.9 (3.8)</td><td>4.4 (4.3)</td><td>4.9 (4.7)</td><td>5.2 (5.0)</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>人</td><td>10.7 (10.6)</td><td>12.3 (12.2)</td><td>13.7 (13.6)</td><td>15.2 (15.0)</td><td>16.5 (16.3)</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td>人</td><td>5.1 (5.0)</td><td>5.8 (5.7)</td><td>6.6 (6.5)</td><td>7.4 (7.2)</td><td>7.9 (7.7)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>3.3</td><td>3.8</td><td>4.3</td><td>4.7</td><td>5</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>%</td><td>37</td><td>38</td><td>39</td><td>39</td><td>42</td></tr></table> ※上記数値は一般的な条件での数値であり、施工条件で数値に大幅な差異が生じる場合がある。現場条件によっては見積徴収が望ましい。 (注) 1. 上記歩掛には仮置場又は運搬用トラックまでの搬送費、柵付ブラケット取付、支承直下部の番座コンクリートのはつりを含む。 2. 諸雑費は、電力に関する経費、コンクリートブレーカ、ピックハンマ、電気溶接機、油圧ジャッキ、手動油圧ポンプ、ガス切断機、ディスクサンダ、電気ドリルの損料、空気圧縮機の賃料及び運転経費、鉄筋、型枠材、溶接棒、酸素、アセチレン、無収縮モルタル、ナゼル、ドリル刃、ディスクサンドペーパー等の材料費、損耗費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 単部材質量が600kgを超す場合には、ラフレックレーンを使用するものとし、別途計上する。但し、600kg以下の部材においてもラフレックレーンが必要な場合には、別途計上する。 4. 反力受け架台として下部工ブラケットを取付ける場合は、下部工ブラケット取付を別途計上すること。 5. 支承の材料費は別途計上する。 6. 現場補修垂表は、別途計上する。 7. 補修用足場は、別途計上する。 8. () 内数値は下部工ブラケット取付が有りの場合とする。 9. 現場環境により、支取替工の労務を、下表の係数を乗じ補正する。	名 称	単位	Ⅵ					3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下	3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下	4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下	5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下	6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下	橋りょう世話役	人	4.5 (4.4)	5.2 (5.1)	5.7 (5.5)	6.3 (6.1)	6.8 (6.6)	橋りょう特殊工	人	13.2 (13.1)	14.9 (14.8)	16.7 (16.5)	18.4 (18.2)	20.2 (20.0)	特殊作業員	人	6.2 (6.1)	7.0 (6.9)	7.8 (7.6)	8.6 (8.4)	9.3 (9.1)	普通作業員	人	4.3	4.8	5.3	5.9	6.5	諸雑費率	%	36	37	38	38	38	名 称	単位	Ⅶ	Ⅷ	1471.0kN(150 t)を超え 2451.7kN(250 t)以下	2451.7kN(250 t)を超え 3138.1kN(320 t)以下	橋りょう世話役	人	2.6 (2.5)	3.0 (2.9)	橋りょう特殊工	人	7.7 (7.6)	9.3 (9.2)	特殊作業員	人	3.7 (3.6)	4.4 (4.3)	普通作業員	人	3.7 (3.7)	4.4 (4.4)	諸雑費率	%	36	36	名 称	単位	Ⅸ					3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下	3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下	4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下	5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下	6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下	橋りょう世話役	人	3.4 (3.3)	3.9 (3.8)	4.4 (4.3)	4.9 (4.7)	5.2 (5.0)	橋りょう特殊工	人	10.7 (10.6)	12.3 (12.2)	13.7 (13.6)	15.2 (15.0)	16.5 (16.3)	特殊作業員	人	5.1 (5.0)	5.8 (5.7)	6.6 (6.5)	7.4 (7.2)	7.9 (7.7)	普通作業員	人	3.3	3.8	4.3	4.7	5	諸雑費率	%	37	38	39	39	42	⑪ 支取替工 (鋼橋) 409 2. 施工パッケージ型積算方式適用外 支取替工のうち、3138.1kN (320 t) を超え7845.3kN (800 t) 以下の鋼製支承及び1471.0kN (150 t) を超え7845.3kN (800 t) 以下のゴム支承の支取替に適用する。 表11-9 支取替工歩掛 (鋼橋-鋼製支承) (一基当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="5">Ⅵ</th></tr><tr><th>3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下</th><th>3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下</th><th>4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下</th><th>5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下</th><th>6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下</th></tr><tr><td>橋りょう世話役</td><td>人</td><td>4.5 (4.4)</td><td>5.2 (5.1)</td><td>5.7 (5.5)</td><td>6.3 (6.1)</td><td>6.8 (6.6)</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>人</td><td>13.2 (13.1)</td><td>14.9 (14.8)</td><td>16.7 (16.5)</td><td>18.4 (18.2)</td><td>20.2 (20.0)</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td>人</td><td>6.2 (6.1)</td><td>7.0 (6.9)</td><td>7.8 (7.6)</td><td>8.6 (8.4)</td><td>9.3 (9.1)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>4.3</td><td>4.8</td><td>5.3</td><td>5.9</td><td>6.5</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>%</td><td>36</td><td>37</td><td>38</td><td>38</td><td>38</td></tr></table> ※上記数値は一般的な条件での数値であり、施工条件で数値に大幅な差異が生じる場合がある。現場条件によっては見積徴収が望ましい。 表11-10 支取替工歩掛 (鋼橋-ゴム支承) (一基当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th>Ⅶ</th><th>Ⅷ</th></tr><tr><th>1471.0kN(150 t)を超え 2451.7kN(250 t)以下</th><th>2451.7kN(250 t)を超え 3138.1kN(320 t)以下</th></tr><tr><td>橋りょう世話役</td><td>人</td><td>2.6 (2.5)</td><td>3.0 (2.9)</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>人</td><td>7.7 (7.6)</td><td>9.3 (9.2)</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td>人</td><td>3.7 (3.6)</td><td>4.4 (4.3)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>3.7 (3.7)</td><td>4.4 (4.4)</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>%</td><td>36</td><td>36</td></tr></table> 橋梁架設工事の積算 表4-3-12 支取替工歩掛 参照 表11-11 支取替工歩掛 (鋼橋-ゴム支承) (一基当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="5">Ⅸ</th></tr><tr><th>3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下</th><th>3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下</th><th>4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下</th><th>5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下</th><th>6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下</th></tr><tr><td>橋りょう世話役</td><td>人</td><td>3.4 (3.3)</td><td>3.9 (3.8)</td><td>4.4 (4.3)</td><td>4.9 (4.7)</td><td>5.2 (5.0)</td></tr><tr><td>橋りょう特殊工</td><td>人</td><td>10.7 (10.6)</td><td>12.3 (12.2)</td><td>13.7 (13.6)</td><td>15.2 (15.0)</td><td>16.5 (16.3)</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td>人</td><td>5.1 (5.0)</td><td>5.8 (5.7)</td><td>6.6 (6.5)</td><td>7.4 (7.2)</td><td>7.9 (7.7)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>3.3</td><td>3.8</td><td>4.3</td><td>4.7</td><td>5</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>%</td><td>37</td><td>38</td><td>39</td><td>39</td><td>42</td></tr></table> ※上記数値は一般的な条件での数値であり、施工条件で数値に大幅な差異が生じる場合がある。現場条件によっては見積徴収が望ましい。 (注) 1. 上記歩掛には仮置場又は運搬用トラックまでの搬送費、柵付ブラケット取付、支承直下部の番座コンクリートのはつりを含む。 2. 諸雑費は、電力に関する経費、コンクリートブレーカ、ピックハンマ、電気溶接機、油圧ジャッキ、手動油圧ポンプ、ガス切断機、ディスクサンダ、電気ドリルの損料、空気圧縮機の賃料及び運転経費、鉄筋、型枠材、溶接棒、酸素、アセチレン、無収縮モルタル、ナゼル、ドリル刃、ディスクサンドペーパー等の材料費、損耗費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 単部材質量が600kgを超す場合には、ラフレックレーンを使用するものとし、別途計上する。但し、600kg以下の部材においてもラフレックレーンが必要な場合には、別途計上する。 4. 反力受け架台として下部工ブラケットを取付ける場合は、下部工ブラケット取付を別途計上すること。 5. 支承の材料費は別途計上する。 6. 柵付きブラケットの材料費 (製作費含む) は、別途計上する。 7. 現場補修垂表は、別途計上する。 8. 補修用足場は、別途計上する。 9. () 内数値は下部工ブラケット取付が有りの場合とする。 10. 現場環境により、支取替工の労務を、下表の係数を乗じ補正する。 11. 取替作業に影響型薄型ジャッキ等 (フラットジャッキ等) や特殊ジャッキを使用する場合、本歩掛は適用できないものとする。 12. 番座コンクリートはつりにウォータージェットを用いる場合、本歩掛は適用できないものとする。	名 称	単位	Ⅵ					3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下	3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下	4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下	5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下	6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下	橋りょう世話役	人	4.5 (4.4)	5.2 (5.1)	5.7 (5.5)	6.3 (6.1)	6.8 (6.6)	橋りょう特殊工	人	13.2 (13.1)	14.9 (14.8)	16.7 (16.5)	18.4 (18.2)	20.2 (20.0)	特殊作業員	人	6.2 (6.1)	7.0 (6.9)	7.8 (7.6)	8.6 (8.4)	9.3 (9.1)	普通作業員	人	4.3	4.8	5.3	5.9	6.5	諸雑費率	%	36	37	38	38	38	名 称	単位	Ⅶ	Ⅷ	1471.0kN(150 t)を超え 2451.7kN(250 t)以下	2451.7kN(250 t)を超え 3138.1kN(320 t)以下	橋りょう世話役	人	2.6 (2.5)	3.0 (2.9)	橋りょう特殊工	人	7.7 (7.6)	9.3 (9.2)	特殊作業員	人	3.7 (3.6)	4.4 (4.3)	普通作業員	人	3.7 (3.7)	4.4 (4.4)	諸雑費率	%	36	36	名 称	単位	Ⅸ					3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下	3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下	4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下	5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下	6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下	橋りょう世話役	人	3.4 (3.3)	3.9 (3.8)	4.4 (4.3)	4.9 (4.7)	5.2 (5.0)	橋りょう特殊工	人	10.7 (10.6)	12.3 (12.2)	13.7 (13.6)	15.2 (15.0)	16.5 (16.3)	特殊作業員	人	5.1 (5.0)	5.8 (5.7)	6.6 (6.5)	7.4 (7.2)	7.9 (7.7)	普通作業員	人	3.3	3.8	4.3	4.7	5	諸雑費率	%	37	38	39	39	42
名 称	単位	Ⅵ																																																																																																																																																																																																																																																	
		3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下	3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下	4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下	5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下	6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下																																																																																																																																																																																																																																													
橋りょう世話役	人	4.5 (4.4)	5.2 (5.1)	5.7 (5.5)	6.3 (6.1)	6.8 (6.6)																																																																																																																																																																																																																																													
橋りょう特殊工	人	13.2 (13.1)	14.9 (14.8)	16.7 (16.5)	18.4 (18.2)	20.2 (20.0)																																																																																																																																																																																																																																													
特殊作業員	人	6.2 (6.1)	7.0 (6.9)	7.8 (7.6)	8.6 (8.4)	9.3 (9.1)																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員	人	4.3	4.8	5.3	5.9	6.5																																																																																																																																																																																																																																													
諸雑費率	%	36	37	38	38	38																																																																																																																																																																																																																																													
名 称	単位	Ⅶ	Ⅷ																																																																																																																																																																																																																																																
		1471.0kN(150 t)を超え 2451.7kN(250 t)以下	2451.7kN(250 t)を超え 3138.1kN(320 t)以下																																																																																																																																																																																																																																																
橋りょう世話役	人	2.6 (2.5)	3.0 (2.9)																																																																																																																																																																																																																																																
橋りょう特殊工	人	7.7 (7.6)	9.3 (9.2)																																																																																																																																																																																																																																																
特殊作業員	人	3.7 (3.6)	4.4 (4.3)																																																																																																																																																																																																																																																
普通作業員	人	3.7 (3.7)	4.4 (4.4)																																																																																																																																																																																																																																																
諸雑費率	%	36	36																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	単位	Ⅸ																																																																																																																																																																																																																																																	
		3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下	3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下	4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下	5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下	6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下																																																																																																																																																																																																																																													
橋りょう世話役	人	3.4 (3.3)	3.9 (3.8)	4.4 (4.3)	4.9 (4.7)	5.2 (5.0)																																																																																																																																																																																																																																													
橋りょう特殊工	人	10.7 (10.6)	12.3 (12.2)	13.7 (13.6)	15.2 (15.0)	16.5 (16.3)																																																																																																																																																																																																																																													
特殊作業員	人	5.1 (5.0)	5.8 (5.7)	6.6 (6.5)	7.4 (7.2)	7.9 (7.7)																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員	人	3.3	3.8	4.3	4.7	5																																																																																																																																																																																																																																													
諸雑費率	%	37	38	39	39	42																																																																																																																																																																																																																																													
名 称	単位	Ⅵ																																																																																																																																																																																																																																																	
		3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下	3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下	4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下	5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下	6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下																																																																																																																																																																																																																																													
橋りょう世話役	人	4.5 (4.4)	5.2 (5.1)	5.7 (5.5)	6.3 (6.1)	6.8 (6.6)																																																																																																																																																																																																																																													
橋りょう特殊工	人	13.2 (13.1)	14.9 (14.8)	16.7 (16.5)	18.4 (18.2)	20.2 (20.0)																																																																																																																																																																																																																																													
特殊作業員	人	6.2 (6.1)	7.0 (6.9)	7.8 (7.6)	8.6 (8.4)	9.3 (9.1)																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員	人	4.3	4.8	5.3	5.9	6.5																																																																																																																																																																																																																																													
諸雑費率	%	36	37	38	38	38																																																																																																																																																																																																																																													
名 称	単位	Ⅶ	Ⅷ																																																																																																																																																																																																																																																
		1471.0kN(150 t)を超え 2451.7kN(250 t)以下	2451.7kN(250 t)を超え 3138.1kN(320 t)以下																																																																																																																																																																																																																																																
橋りょう世話役	人	2.6 (2.5)	3.0 (2.9)																																																																																																																																																																																																																																																
橋りょう特殊工	人	7.7 (7.6)	9.3 (9.2)																																																																																																																																																																																																																																																
特殊作業員	人	3.7 (3.6)	4.4 (4.3)																																																																																																																																																																																																																																																
普通作業員	人	3.7 (3.7)	4.4 (4.4)																																																																																																																																																																																																																																																
諸雑費率	%	36	36																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	単位	Ⅸ																																																																																																																																																																																																																																																	
		3138.1kN(320 t)を超え 3922.7kN(400 t)以下	3922.7kN(400 t)を超え 4903.3kN(500 t)以下	4903.3kN(500 t)を超え 5884.0kN(600 t)以下	5884.0kN(600 t)を超え 6864.7kN(700 t)以下	6864.7kN(700 t)を超え 7845.3kN(800 t)以下																																																																																																																																																																																																																																													
橋りょう世話役	人	3.4 (3.3)	3.9 (3.8)	4.4 (4.3)	4.9 (4.7)	5.2 (5.0)																																																																																																																																																																																																																																													
橋りょう特殊工	人	10.7 (10.6)	12.3 (12.2)	13.7 (13.6)	15.2 (15.0)	16.5 (16.3)																																																																																																																																																																																																																																													
特殊作業員	人	5.1 (5.0)	5.8 (5.7)	6.6 (6.5)	7.4 (7.2)	7.9 (7.7)																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員	人	3.3	3.8	4.3	4.7	5																																																																																																																																																																																																																																													
諸雑費率	%	37	38	39	39	42																																																																																																																																																																																																																																													

禁無斷複製・轉載